



AIコンソ 入会

SEARCH

国立研究開発法人 産業技術総合研究所人工知能研究センター  
人工知能技術コンソーシアム事務局

<https://www.ai-tech-c.jp/>

## 人工知能技術コンソーシアム

— 次世代人工知能技術活用の輪 —



# ごあいさつ

人工知能技術コンソーシアムは2015年5月1日、国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センターの設立と同時に設置され、人工知能技術の社会実装、異業種の共創的価値創出による成功事例を持続的に生む仕組みづくりを目指しています。

現在200社近い各法人会員の課題や強みを共有し、ベストマッチングを模索していく場(ワーキング・グループ)の形成、人工知能技術とビッグデータ活用の手法・技術・仕組みに関する研究会実施、最新動向の共有、デザイン・シンキングの実践や小規模プロジェクト立案、コンテストや実証実験の実施などを行っています。これらにより膨大なノウハウが集積され、大規模の異業種連携プロジェクトや公的研究開発プロジェクトへの展開、関西・九州・東海・神戸などの地域支部設置なども始まりました。またAI人材の育成も進んでいます。コンソーシアムの活動成果は公開シンポジウムや大型展示会などを通じて外部にも発信し、社会への普及を促進してまいります。

## PROFILE

YOICHI MOTOMURA

### 本村 陽一 博士(工学)

1993電子技術総合研究所入所、2003～産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター主任研究員、2008～同サービス工学研究センター大規模データモデリング研究チーム長、2011～同サービス工学研究センター副研究センター長、2015～同人工知能研究センター副研究センター長、2016～同首席研究員、東京工業大学特定教授、神戸大学客員教授、統計数理研究所客員教授兼務、人工知能学会理事、サービス学会理事、行動計量学会理事などを歴任。



## 社会のデジタル化、Cyber=Physical

社会がインターネットとスマートフォンの普及により大きく姿を変えたように、これからIoTデバイスとそこから生まれるリアル世界でのビッグデータ、それを処理する人工知能技術の同時多発的な普及

及、相乗効果によって実社会のデジタル化、つまり社会のサイバーフィジカル化がはじまります。

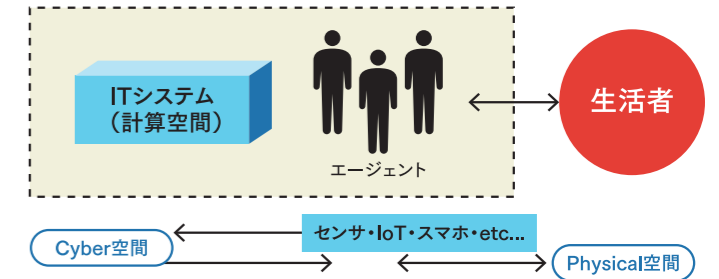
### リアルな実空間の活動がデジタル化され、インターネット空間に流れ込む社会が出現

ビッグデータとAIが実社会現象を計算モデル化し、Cyber空間に拡張、産業構造変革が始まる

Cyber = Physicalイノベーション

### 情報システムと社会・人々が融合する時代

実生活の中でビッグデータ観測・活用を行うことが可能に

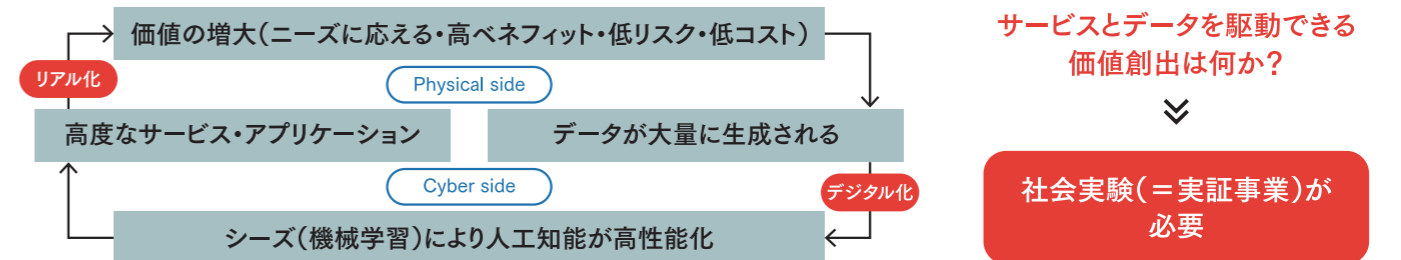


## Cyber=Physical時代の価値創出 人工知能とビッグデータの成長スパイラル

社会がサイバーフィジカル化する時代においては、ビッグデータとそれを学習したAIはサービス・アプリケーションと一体で発展するため、ユーザにとっての価値の増大が不可欠です。そこで具体的

な社会実験、実証事業を早期に着手、改善ループを持続することが重要になります。

### サービスとデータを駆動できる価値の創出・増大が、成長スパイラルのため必須



## 人工知能技術による第四次産業構造変革

人工知能技術が導入され既存ビジネスの効率を上げ、ネット上の新規サービス・ビジネスを多数創出しますが、その普及が進んだ社会では、AIが駆動するサービスモジュール間の連携が可能になりま

す。それらが有機的に結合することで新たな産業連携(Connected industries)が生まれ、これまでの枠組みを超えた急激な産業構造変革(サイバーフィジカルイノベーション)が期待されています。

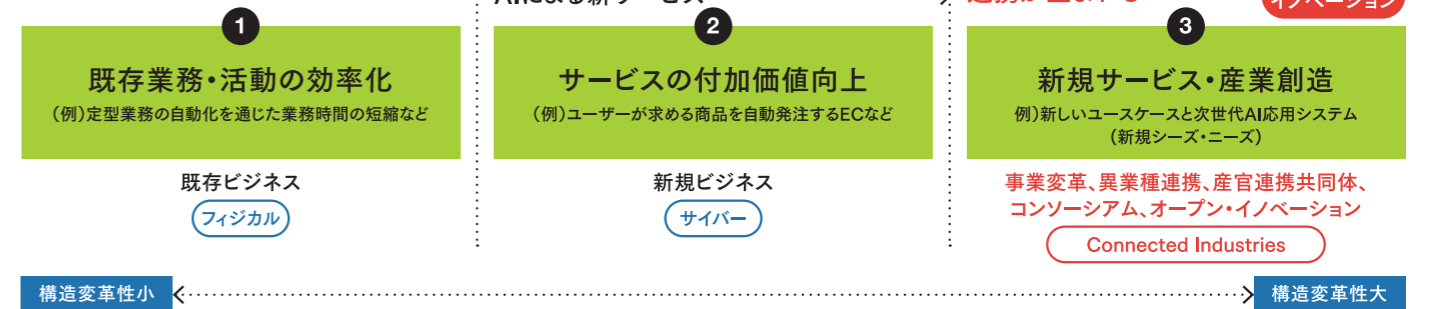
### 人工知能技術の社会実装=新たなフレームの構築

AIを既存ビジネスへ導入

AIによる新サービス

AIによる新たな産業連携が生まれる

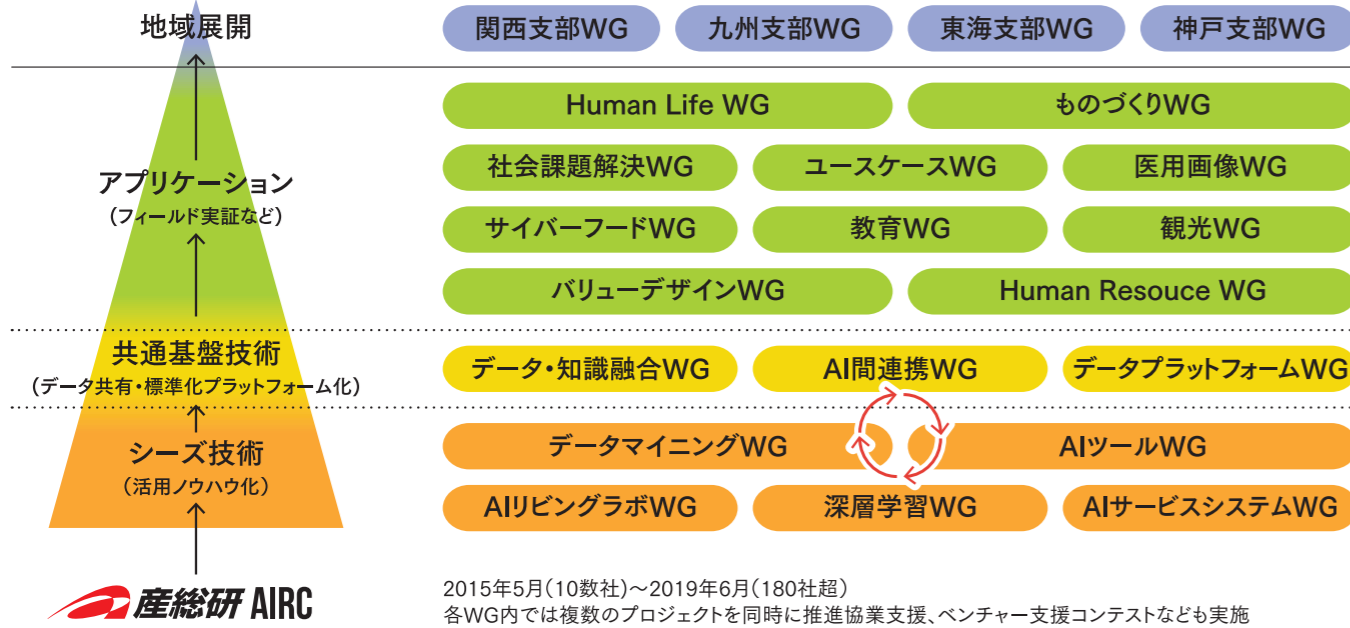
Cyber=Physicalイノベーション



## 人工知能技術コンソーシアム

人工知能技術コンソーシアムは、こうした第四次産業構造改革を見据え、シーズ技術の活用のみならず、それらの共通基盤化、各応用事例のパッケージ化、推進体制の仕組み化を同時に進めています。さらにそれらのアプリケーションパッケージを活用し、課題

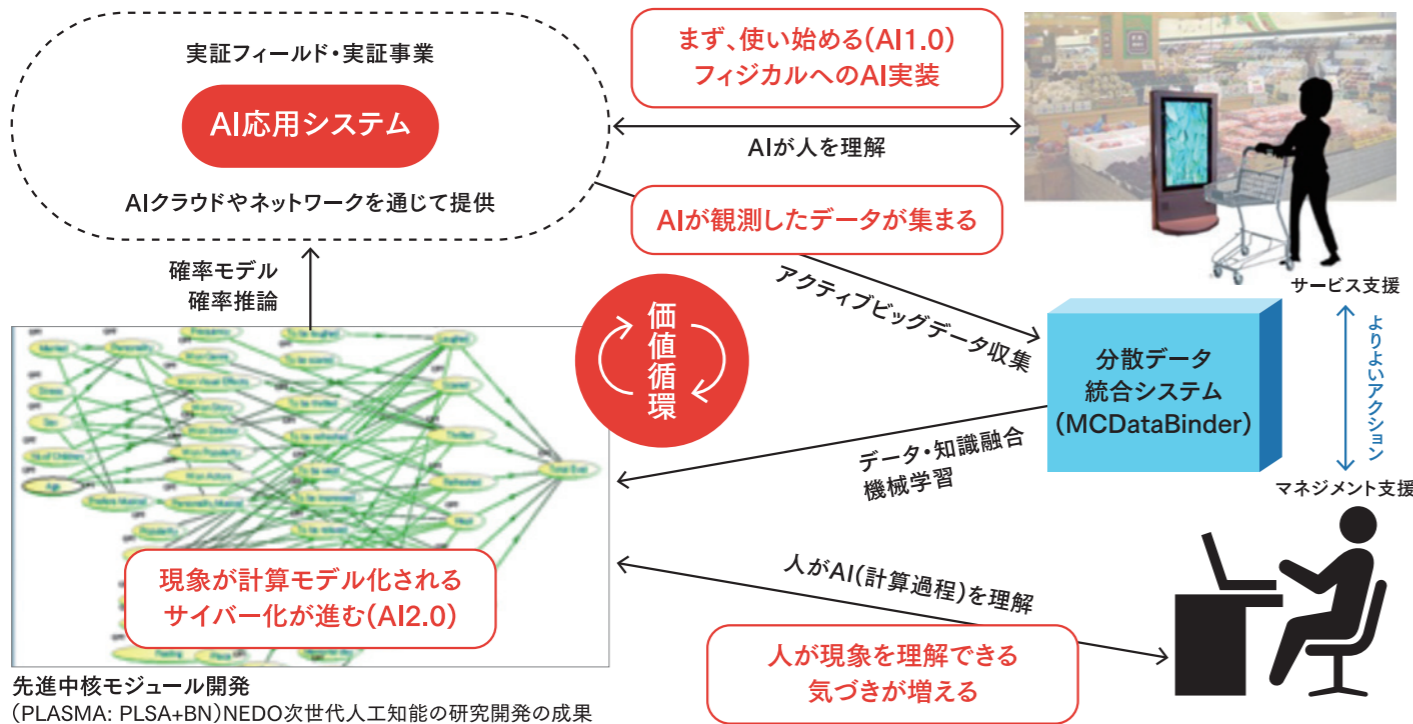
を持つ地域への展開、定着をはかる持続的な活動へとつなげるため、地域支部と各ワーキンググループ(WG)、各プロジェクトを有機的に連携できるような会員がそれらに同時参加し、主体的に活動できるように運営しています。



## 人と相互理解できる次世代人工知能 [ 社会実装と価値循環 ]

産総研が提唱する「人と相互理解できる次世代人工知能」は、早期に使い始めることで、質の高いAIが観測した実社会ビッグデータの集積を進め、それをAIが学習して様々なユースケースでサービ

ス支援を行います。それと同時に実社会の現象を人が理解できるようにすることで、これまで人が行っている意思決定や経営・管理、デザインなども支援できます。



## サイバーフィジカルモデリングのためのソフトウェア

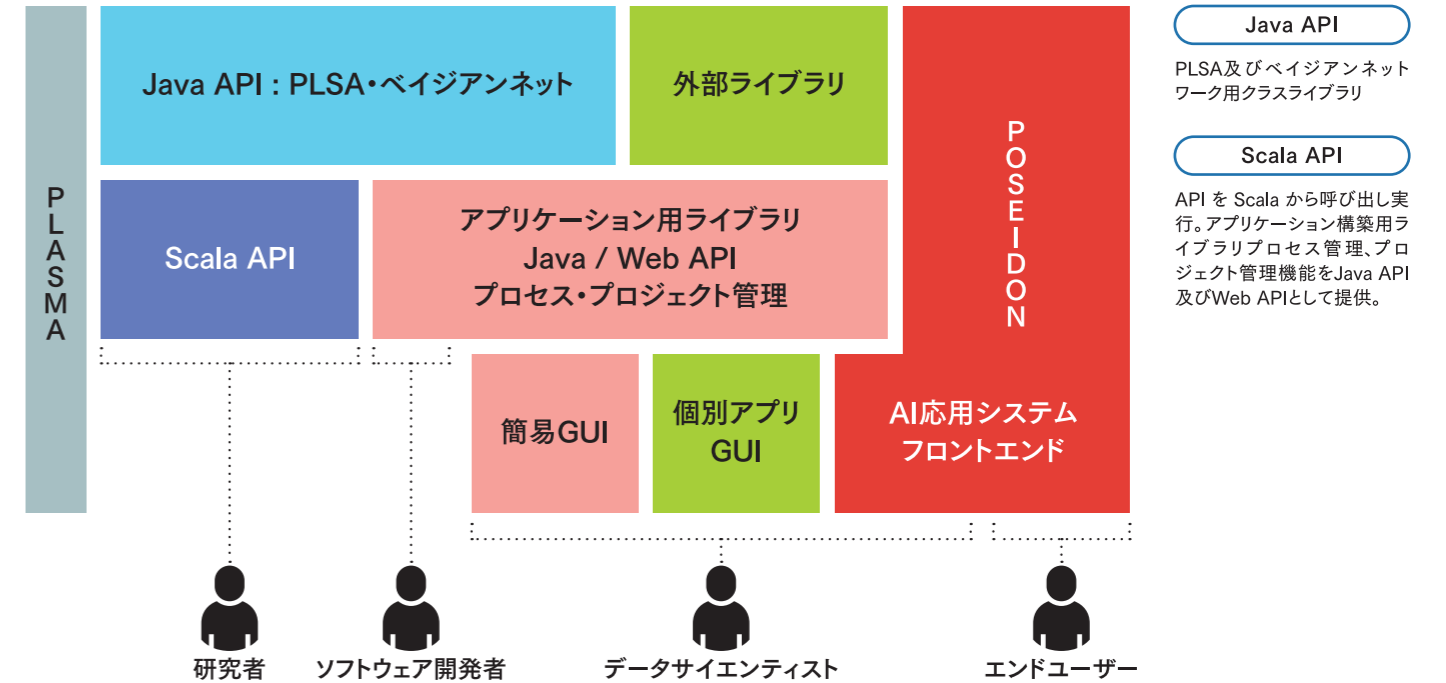
実社会ビッグデータからサイバーフィジカル社会で起こる現象をモデル化するためのソフトウェアが共通基盤として提供されてお

り、コンソーシアム会員は本コンソーシアム内で利用することができます。

### 不確実性を積極的にモデル化、予測・制御するシステム開発環境

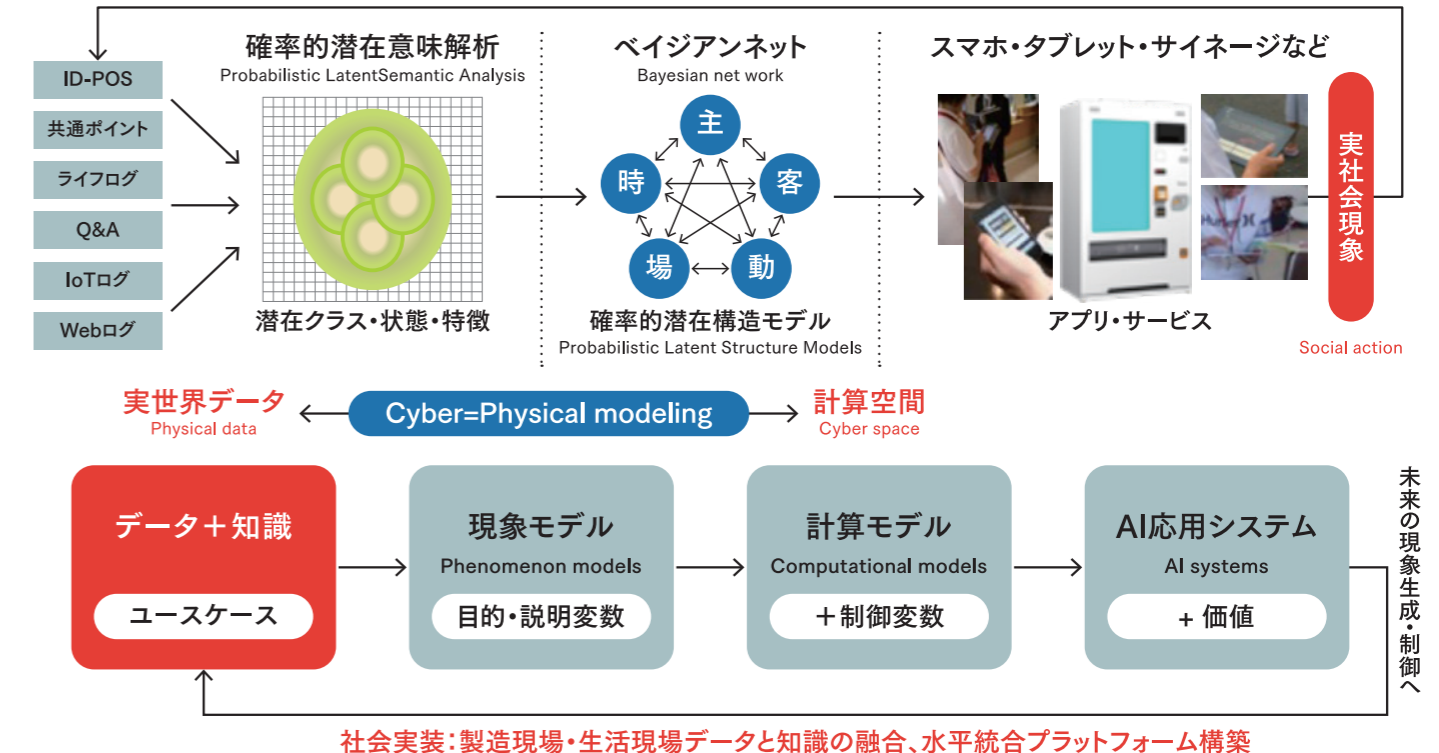
#### PLASMA: Probabilistic Latent Semantic Structure Modeling API

##### 確率的潜在意味構造モデリングのためのJava言語によるAPIセット



### Cyber=Physical モデリング

#### 実データからの計算モデル構築と実社会現象制御 (背景、状況、その変化=「コト」の確率推論を可能に)

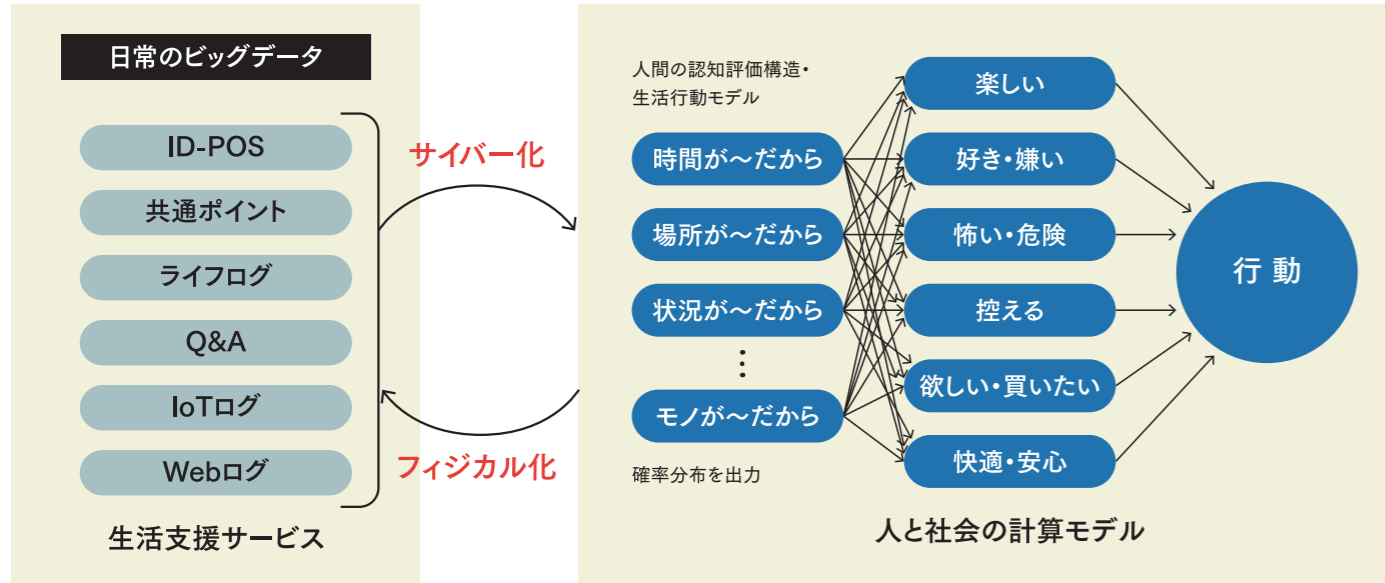


# 人と社会のサイバー化・フィジカル化

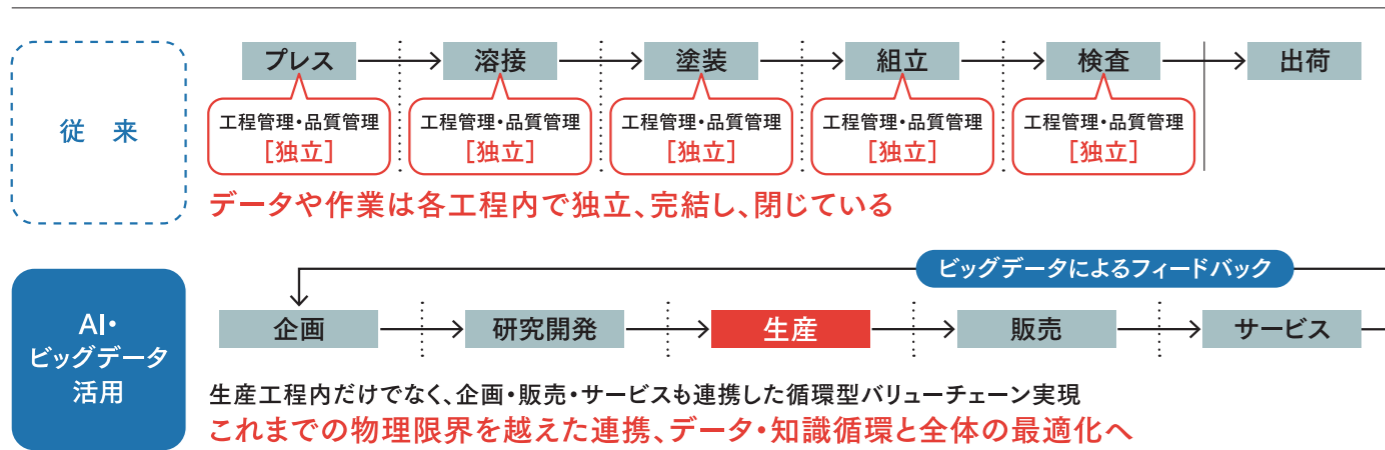
コンソーシアム内では各種のセンサデータやアンケート、インタビューなど実社会ビッグデータの収集方法や匿名加工手法、モデル化手法を共有することで、それらを共有できます。さらにそれら

の共通基盤を活用することで、これまでにない異業種・多機関連携が生まれています。

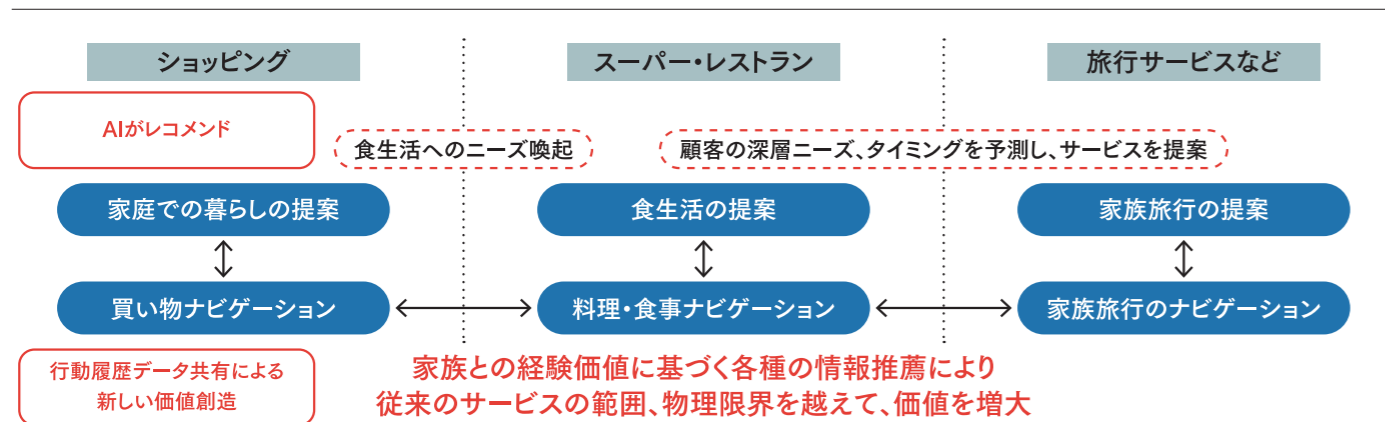
## 人と社会のモデル化とそのモデルを活用した生活支援サービス



### 例.1 >> 製造分野でのサイバーフィジカル化



### 例.2 >> サービス分野でのサイバーフィジカル化

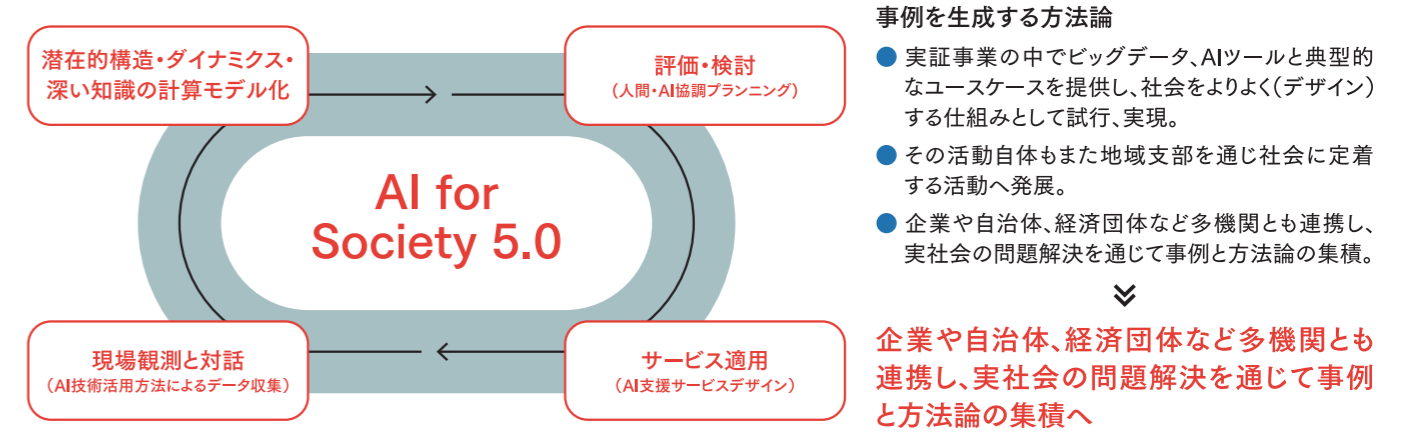


# 実社会の中でのサイバーフィジカルイノベーション

異業種・多機関連携と、地域や具体的なユースケースでの課題解決プロジェクトを立案、試行する実証事業を多数生み、ノウハウ

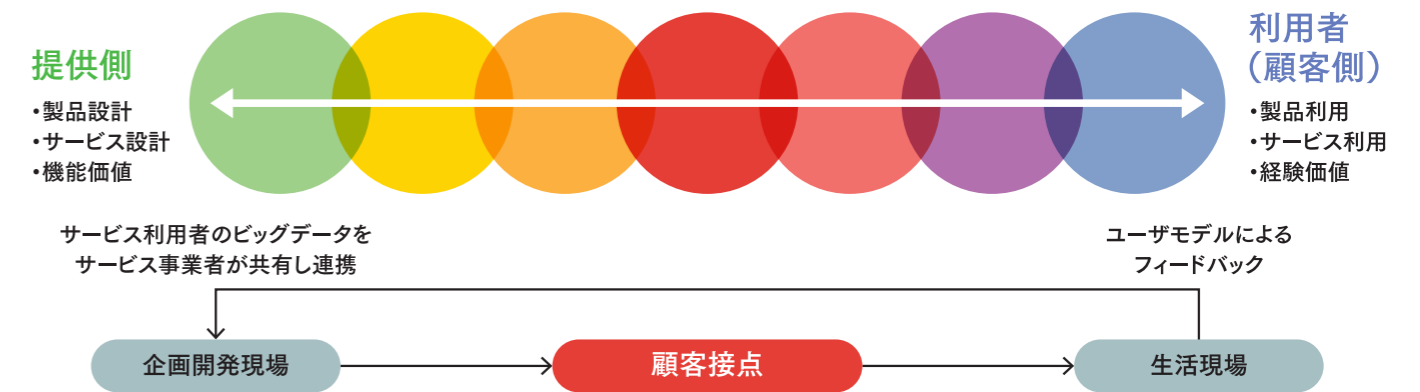
を共有することで、実社会の中でサイバーフィジカルイノベーションを進めていくことを目指しています。

## 個々の生活の品質(QoL)、産業の価値創出・生産性を向上し、AI技術の活用を広げる仕組みの構築 → 人材育成と仕組み自体も広く波及していくことを目指す



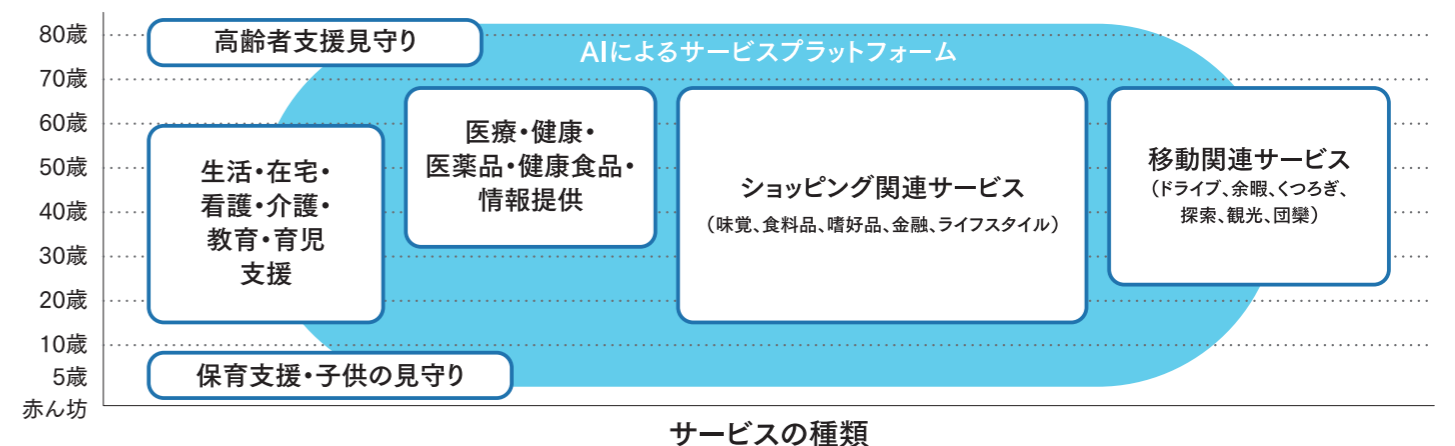
## サイバーフィジカルバリューチェーン：ビッグデータの活用のための多機関連携

ビッグデータ大国ニッポンへ：AI技術で幅広く活用



「製品(モノ)を伝える」から「経験価値(コト)を伝える」へ  
供給側だけではなく利用者側の情報も積極的に扱う/ビッグデータによる循環型バリューチェーンの実現

## サイバーフィジカルバリューチェーンによるサービス間連携



## 次世代AI技術の社会実装シナリオ：2023年を想定したビジョン

次世代AI技術の社会実装シナリオについて、ユースケースのデザイン、具体的なユーザやステークホルダーのニーズ分析、デザイン・シンキングやワークショップなどの手法を用いて検討しています。(http://www.ai-tech-c.jp/movies/)

### AI for your life

～暮らしに広がる人工知能～



### 【2023年頃の次世代AIで広がる新たな暮らし】



## ワーキンググループ(WG) 活動紹介

主なWGを紹介します

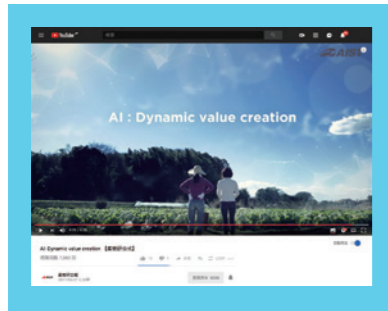
- Human Life WG
- ものづくりWG
- 社会課題解決WG
- ユースケースWG
- 医用画像WG
- サイバーフードWG
- 教育WG
- 観光WG
- バリューデザインWG
- Human Resource WG

- データ・知識融合WG
- データプラットフォームWG

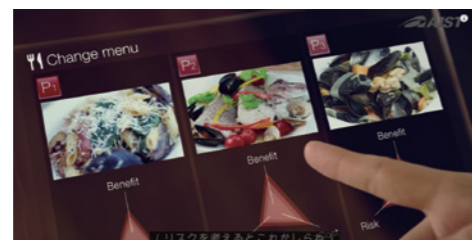
- データマイニングWG
- AIツールWG
- AIリビングラボWG
- 深層学習WG
- AIサービスシステムWG

- 関西支部WG
- 九州支部WG
- 東海支部WG
- 神戸支部WG

### AI : Dynamic value creation



### 【外食と農家、製造業を題材にした新たな異業種連携】



NEDO「人間と相互理解できる次世代人工知能の研究開発」の支援による

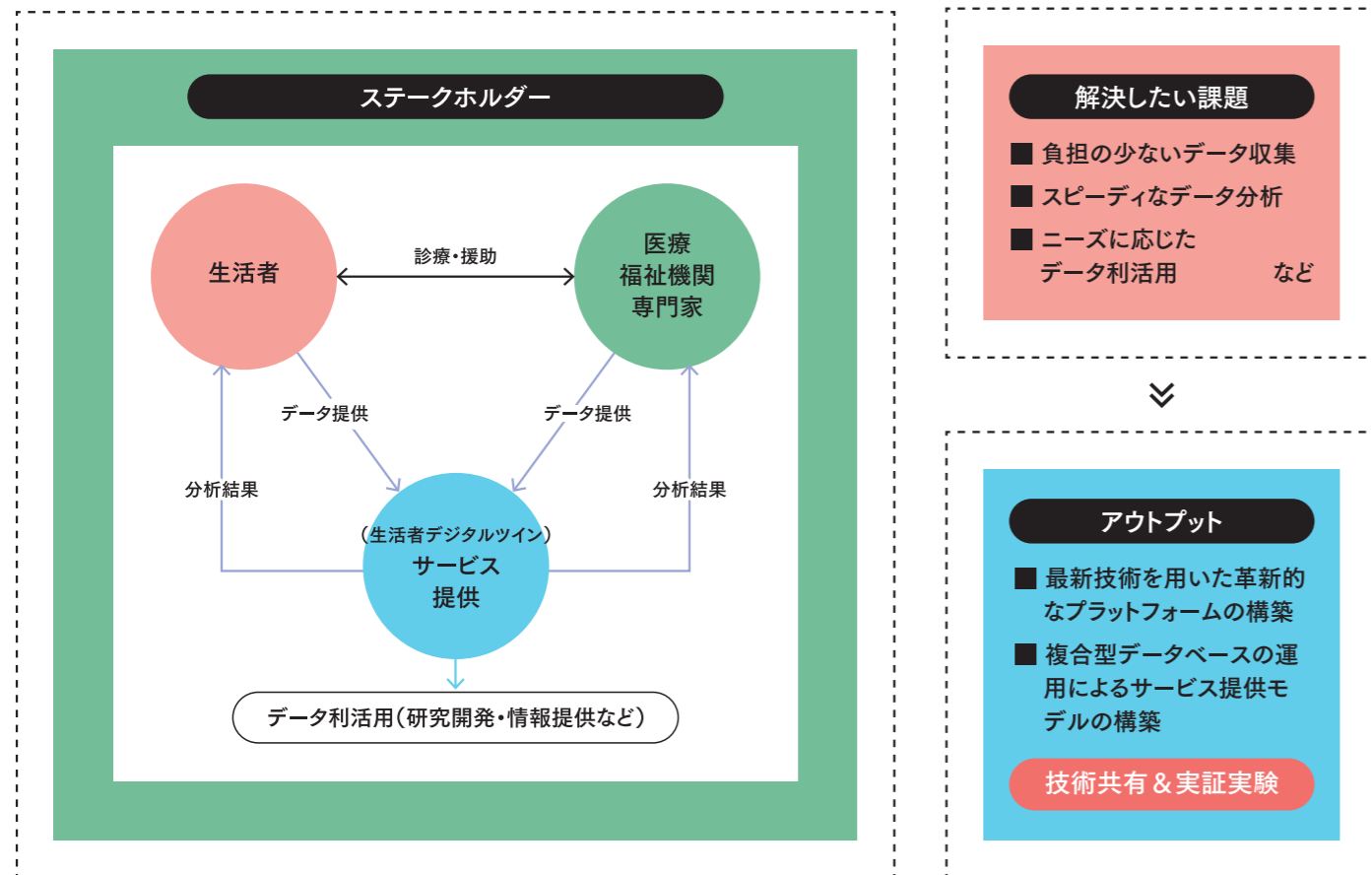
# Human Life WG



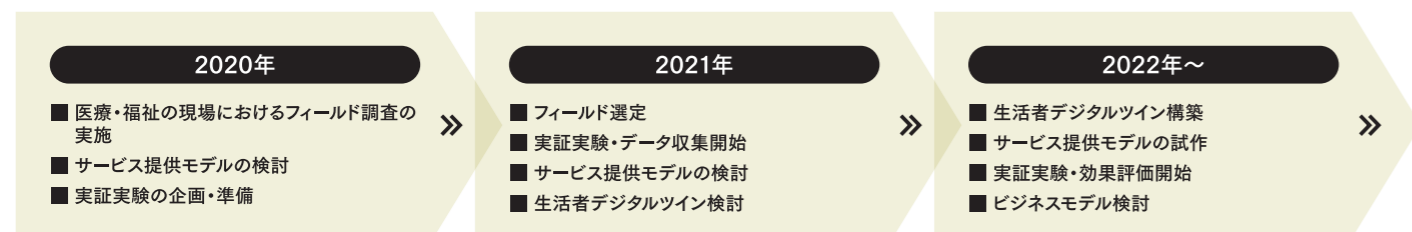
健康・医療データの利活用により、生活者の安全で心豊かな日常生活を支援する仕組みづくりを目指す。

- 主な参加者の業種
- 医療機関
  - 大学・研究機関
  - 官公庁
  - 情報通信業
  - システム開発業

## → プロジェクト概要



## → プロジェクトの展開予定



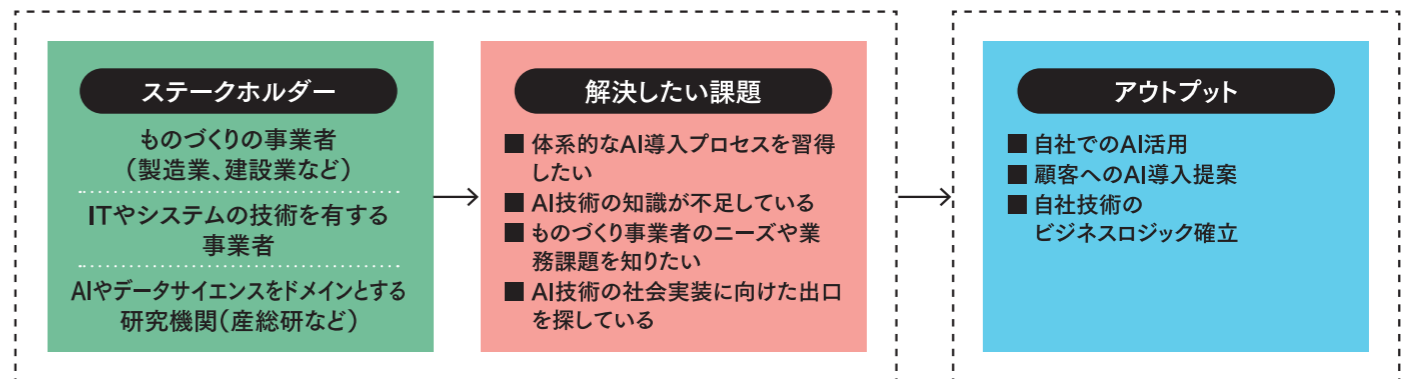
# ものづくりWG

- ▶ いわゆる製造業のみならず、さまざまな分野からWGに参加
- ▶ AI活用の実用に向けてニーズ、データ、シーズに関し広く議論
- ▶ AI導入プロセスとユースケースを相互にブラッシュアップし発信
- ▶ 技術売り込み型ではなく課題解決型のビジネスロジックを習得

- 主な参加者の業種
- 製造業(自動車・自動車部品、複合機、電子機器、精密機器など)
  - IT企業
  - 建設
  - 金融
  - 流通
  - 官公庁、研究機関 他

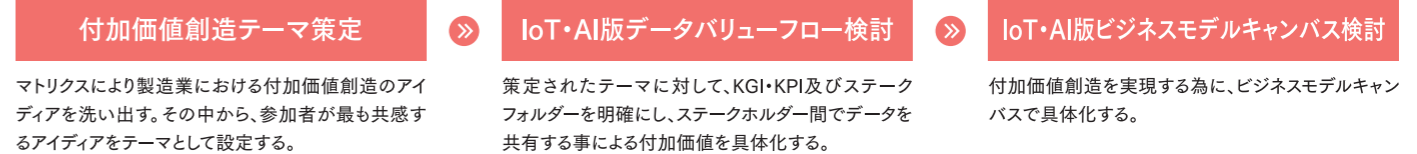
## → WG活動コンセプト

- ものづくりの事業へのAI導入のプロセス検討
- 実証実験を通じた提案プロセスの検証

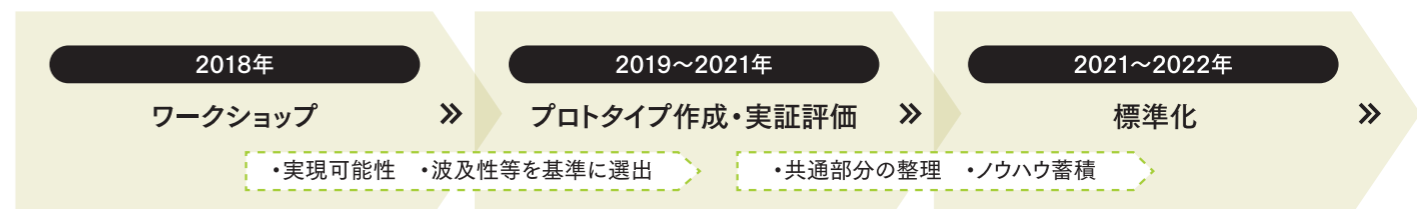


## → プロジェクト事例～IoT・AI推進プロジェクト in Nagasaki～

**目的:** アイディアの創出～モデリングを通して、IoT・AI導入アプローチを学び、具体的テーマの選定、その実現に向けた検討を行う  
**視座:** 製造業として、今後どのような付加価値が創造できるか



## → プロジェクトの展開予定 (これまでの経過および今後の計画)



# 社会課題解決WG

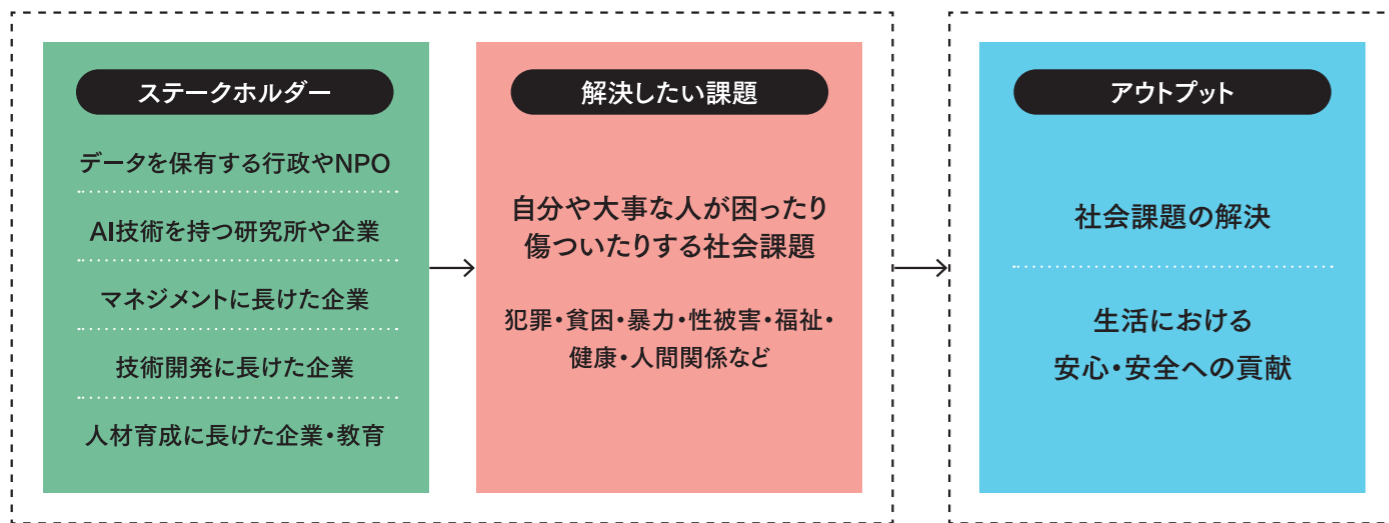
犯罪・福祉・健康・地域など  
様々な社会課題に対し、  
多様なプレイヤーで  
ソーシャルインパクトを起こす。



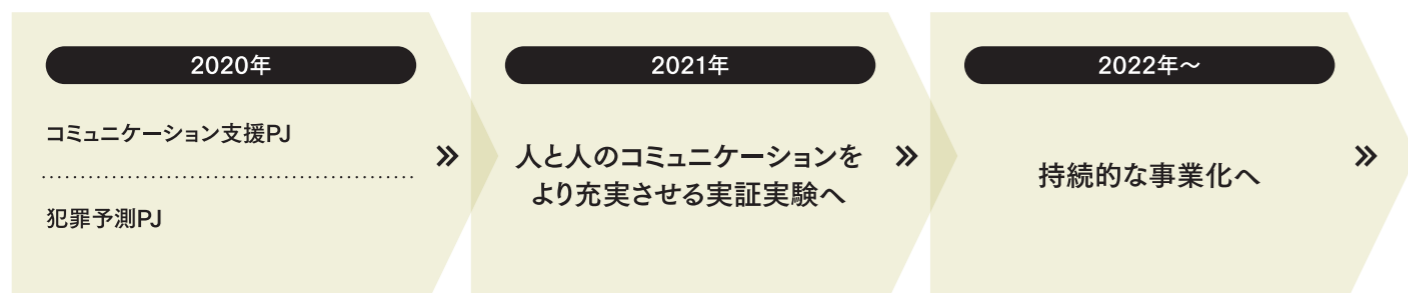
- 主な参加者の業種
- 産総研 ● 製造業 ● コンサルティング業 ● サービス業 ● メーカー業 ● 教育支援業
  - 2021年度新メンバー募集中

## プロジェクト事例

- WGの特徴  
すぐには解決できないって?だからこそ、フェアなチームで、とことん行動し考える社会課題解決WGがあるんです。
- 課題(ニーズとデータ)の質を大事にします。  
外部競争資金調達もWGで目指すことも可能です。
- SDGsにおける社会貢献性が企業に求められる時代だからこそ、  
企業・官公庁・現場で共同し、社会に役立つ新規事業や企業間シナジーを検討しませんか?

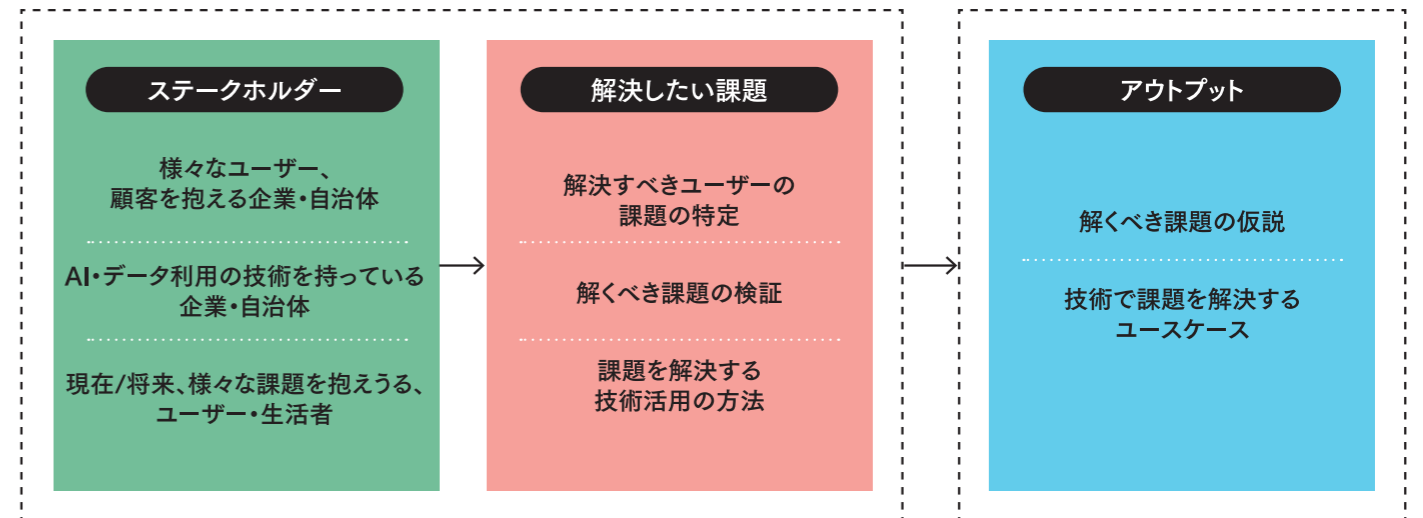


## プロジェクトの展開予定



# ユースケースWG

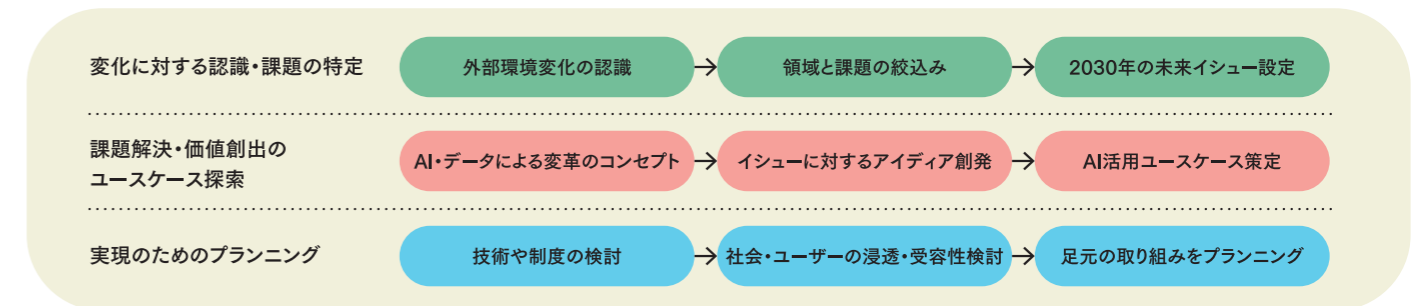
- ▶ 近い将来の社会・個人の課題、価値観、AI技術から、AI・データ活用のアイデアを発想し、その検証・実証を通してユースケースを策定する。
- ▶ 再現性のある、ユースケース策定のプロセスそのものを設計する。



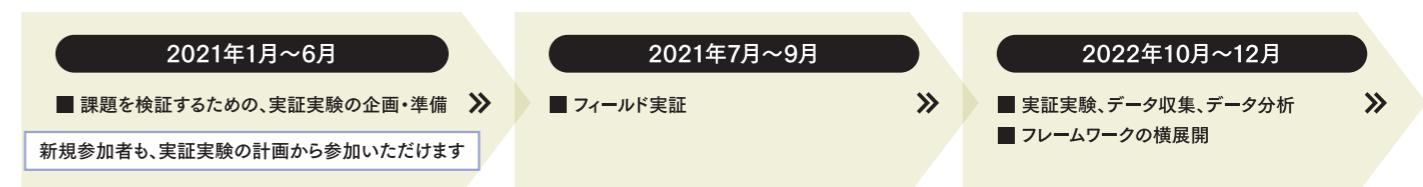
- 主な参加者の業種
- 情報・通信業 ● コンサルティング業 ● 製造業(自動車、機械、家電機器) ● インフラ 他

## WG活動事例

様々なテーマで、遠い将来のAI活用ユースケースを先に描き、  
その実現のために企業・社会で必要な取り組み・変化をプランニングします。

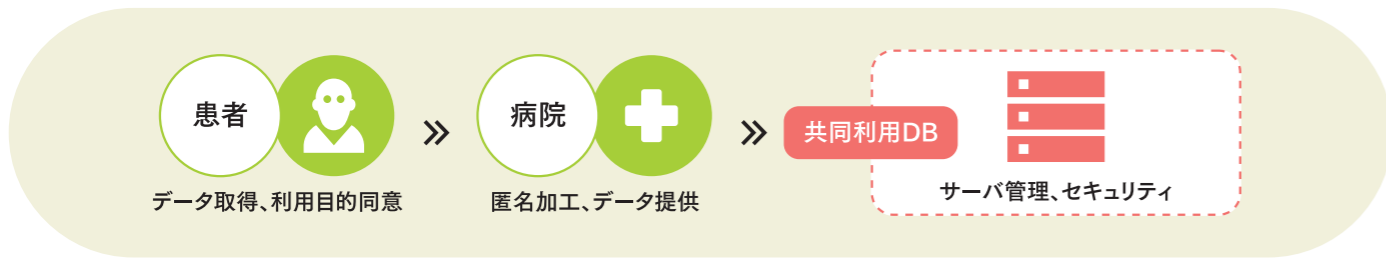


## プロジェクトの展開予定



# 医用画像WG

- ▶ 医用画像を学習したAIモデルを作成する。
- ▶ 医用画像のデータベースを作成する。
- ▶ 事前学習をしたAIモデル、及びメタデータ付きの画像DBを構築・公開することで、医学研究や医療AI開発を促進する。

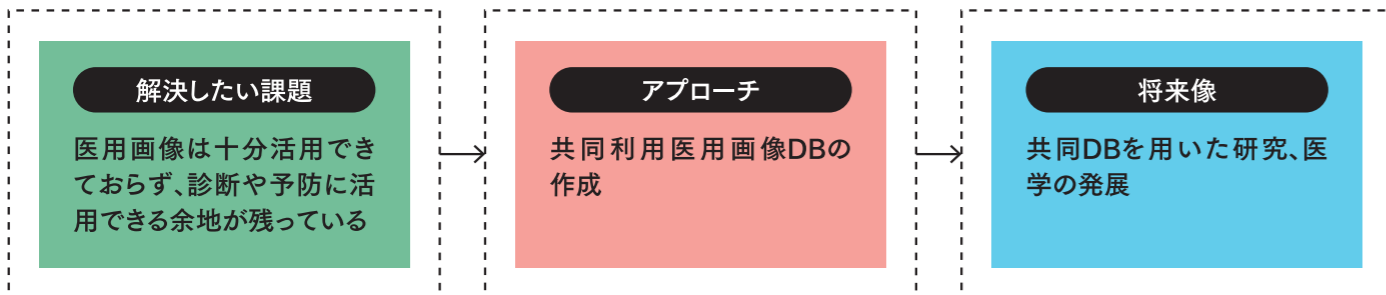


主な参加者の業種

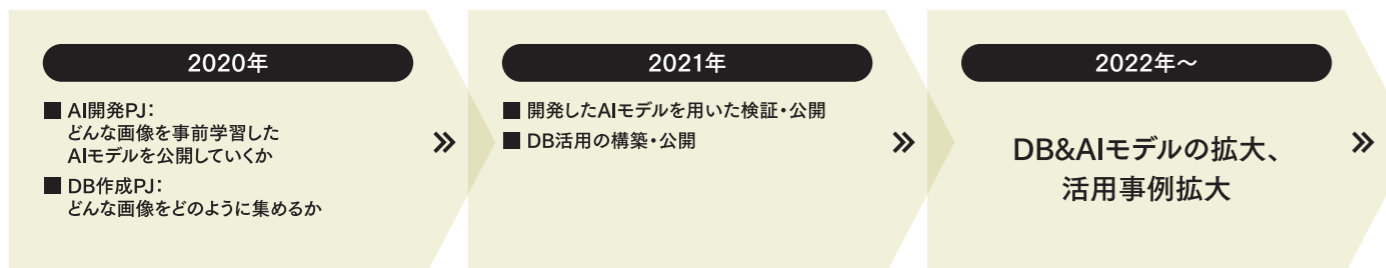
- 医療機関 ● 医療機器開発 ● システム開発 ● 情報通信業 他
- 2018年新設WG、メンバー募集中

## 海外参考事例

米国国立衛生研究所 (NIH) 画像DB	利用成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 匿名加工された10万件の国営オープンアクセスレントゲンDB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ “CheXNet: Radiologist-Level Pneumonia Detection on Chest X-Rays with Deep Learning” (Andrew Ng, et al)</li> <li>■ 肺炎の診断で、放射線科専門医をAIが上回る</li> </ul>

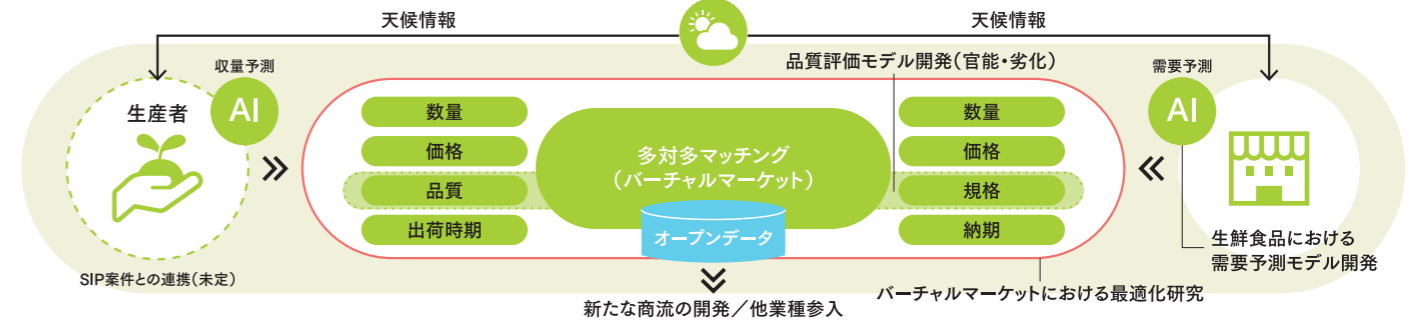


## プロジェクトの展開予定



# サイバーフードWG

生鮮食品を対象に生産、流通、消費の各領域が複合的につながり合って融合化することにより構築されるバーチャルマーケットに必要となる基礎技術の研究成果の共有を行う。

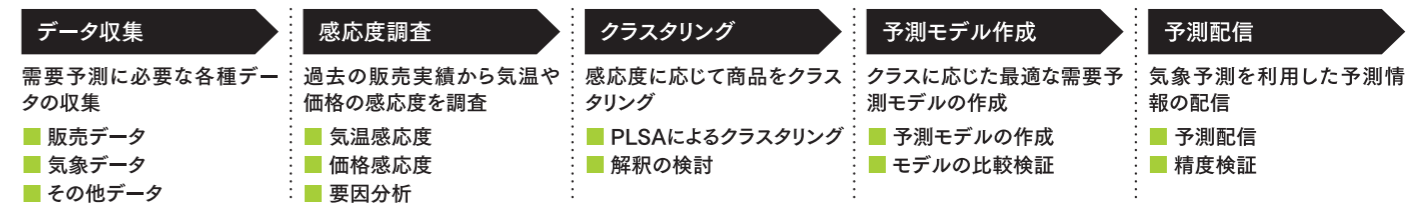


主な参加者の業種

- 研究機関 ● 流通企業 ● 飲食店 ● 食品メーカー ● IT企業

## プロジェクト事例

人工知能技術適用によるスマート社会の実現 農作物におけるスマートフードチェーンの研究開発 (NEDO委託事業)



モデル構築手法	成果	研究目標
<p>② 相関</p> <p>非破壊計測法</p> <p>PSL回帰分析</p> <p>① 相関</p> <p>官能試験結果 (ターゲット変数)</p> <p>③ 有効波長のみを用いて潜在的品質を推定する回帰モデルを作成</p>	<p>8種のトマトを用いて実験</p> <p>✓ 実測値と予測値がほぼ一致</p> <p>✓ 品種特性を一目で把握可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2019年までに、異なる栽培条件・鮮度条件のトマトを用いて、PLS回帰分析を上回る推定モデル(AIモデル)を構築</li> <li>■ 2022年までに、以下実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 上記推定モデルを加工食品等、多様な食品へ展開</li> <li>② フードチェーンの各段階へのセンサの実装、及び標準化プロトコル整備</li> <li>③ 民間主導でデータが継続的に取得できる環境整備</li> </ul> </li> </ul>

## プロジェクトの展開予定





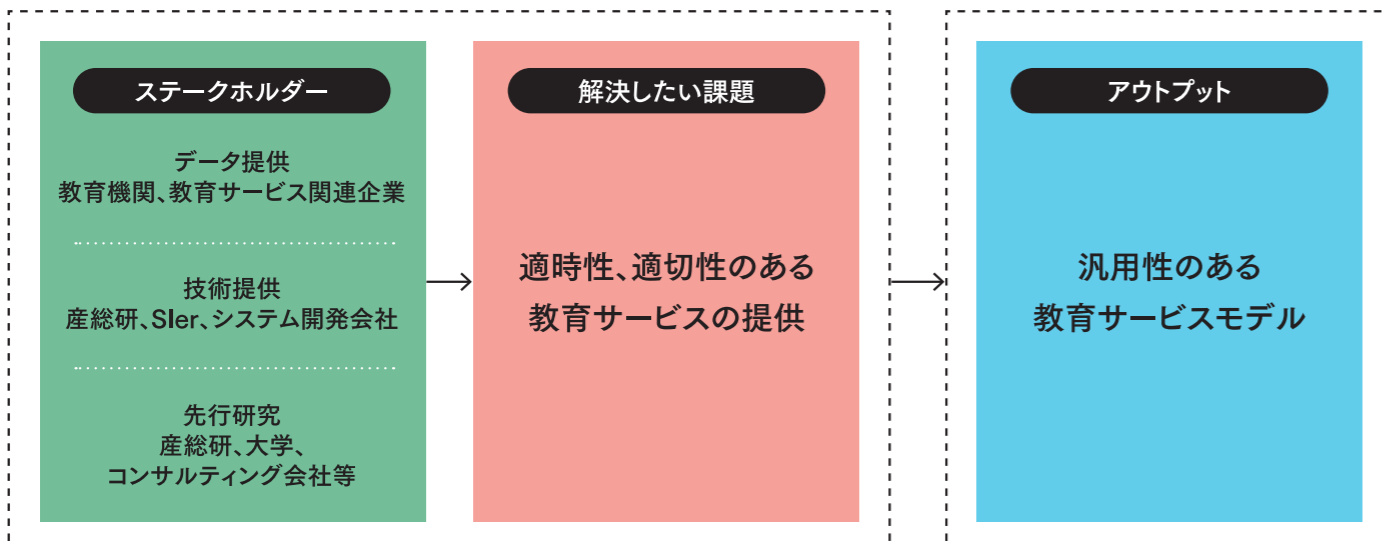
# 教育WG

- ▶ PLASMAを活用した教育関連データの分析から、教育サービスのレコメンドモデルやサポートシステムの構築。
- ▶ 「学×官×産」による教育サービス改革への参画。
- ▶ AIを活用したeラーニングシステムの開発。

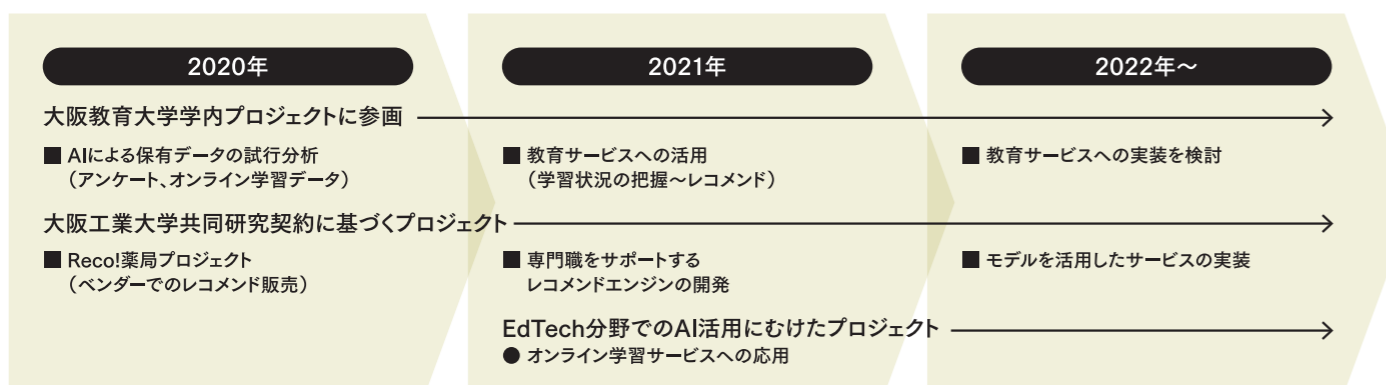
主な参加者の業種 ● 教育機関 ● 公的機関 ● シンクタンク ● ソフト開発会社 ● 広告代理店 他

## WG活動コンセプト

- 教育機関や教育サービス企業で蓄積されたデータを活用して、サービス対象者の目的や状況に応じた適切な教育サービス提供の実現。
- 学校教育に限らず、“学び”をサポートする、汎用的なサービスモデルの構築を目指す。(ex.生涯教育、資格取得、教育イベントetc.)

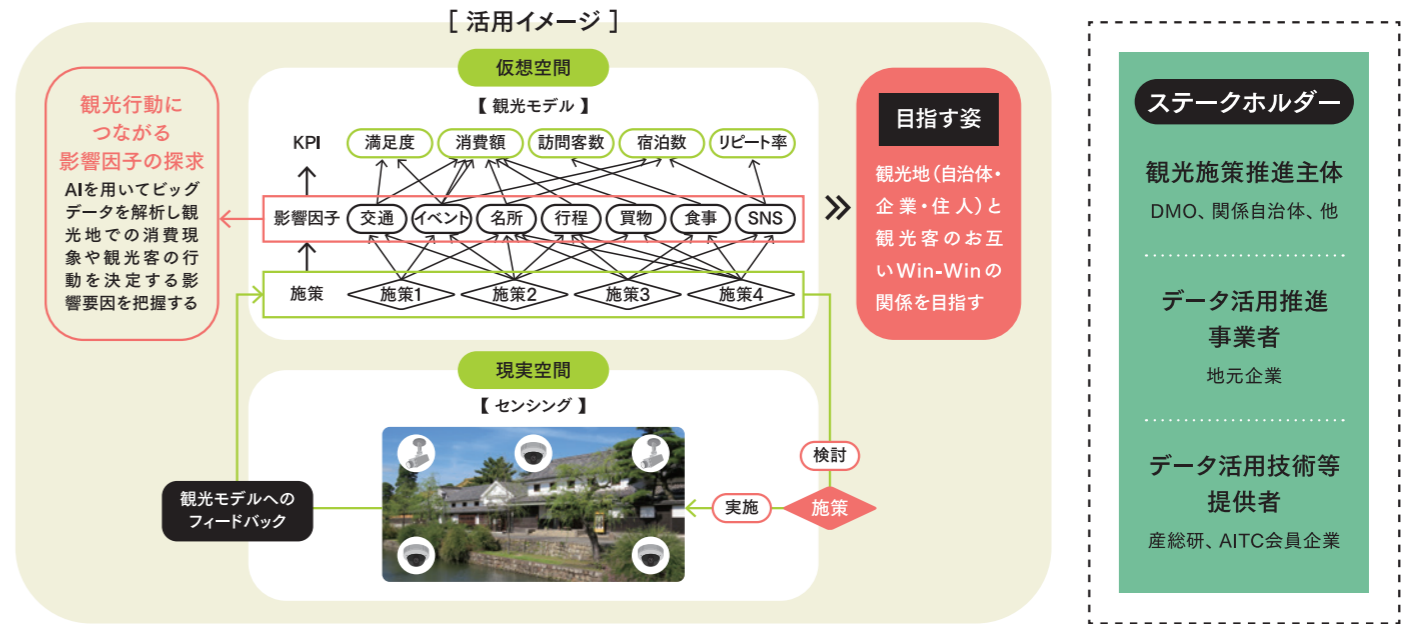


## プロジェクトの展開予定



# 観光WG

- ▶ 観光関連データを取得し、観光シミュレーションモデルを検討する。
- ▶ 観光行動につながる影響因子を把握し、観光資源の付加価値向上のための施策検討、検証に資する。

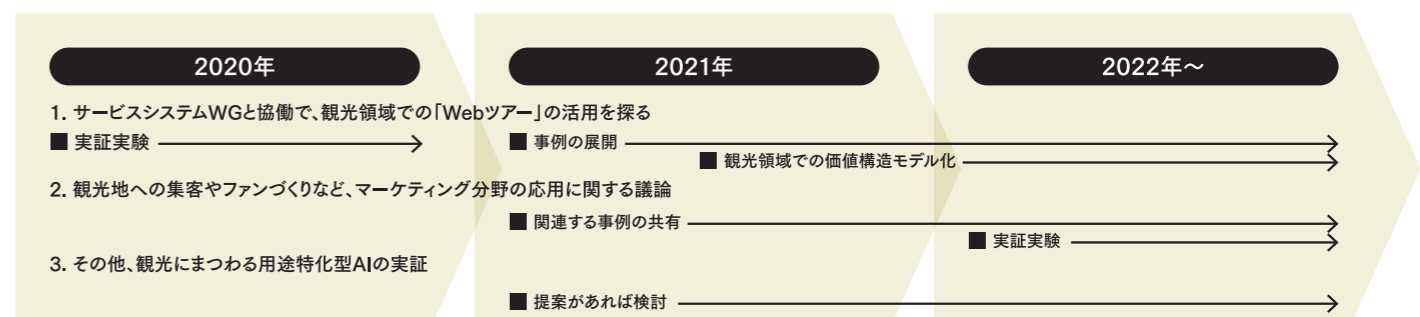


主な参加者の業種 ● 地方経済団体 ● ITサービス ● マーケティング ● 製造業(化学工業)

## 観光モデルのイメージ

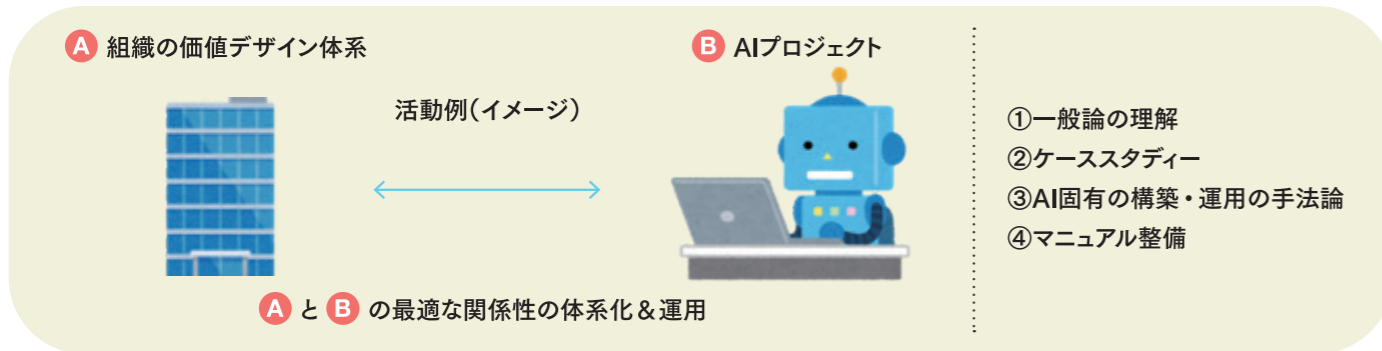
視点	目的変数(例)	制御したいこと(例)
地域全体	● 地域全体の観光客数 ● 売上	● 打ち手の選択 ● 予算配分 ● 観光地・観光客の類型化による相互送客
旅程	● 目的地の選択 ● 消費金額 ● 観光者の満足度 ● ファン度	● 潜在顧客の判別 ● 旅の目的や気分の推定 ● 行先やサービスの推薦
サービス現場	● 体験の質(便利・感動) ● 提供側の効率	● ユーザ属性の推定 ● 施設内での推薦 ● 自動応答 ● リソース配分

## プロジェクトの展開予定



# バリューデザインWG

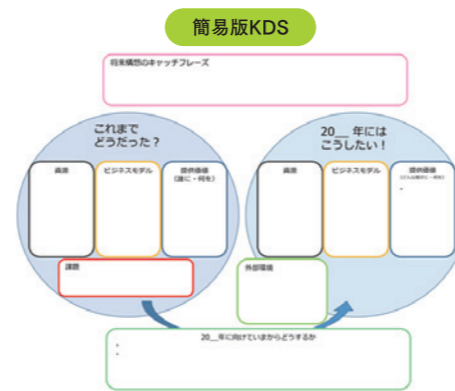
- ▶ 最終ゴール:組織、プロジェクト、人格形成(教育)等におけるバリューデザインスキームを普及する。
- ▶ ゴール実現への取り組み:バリューデザインについての、①ユースケースの蓄積、②概念の言語化、③方法論の確立とガイドライン化、④ツール(下記参照)のAI化、⑤普及プログラムの策定と実践、⑥普及のフィードバックによる活動のリフレーム。



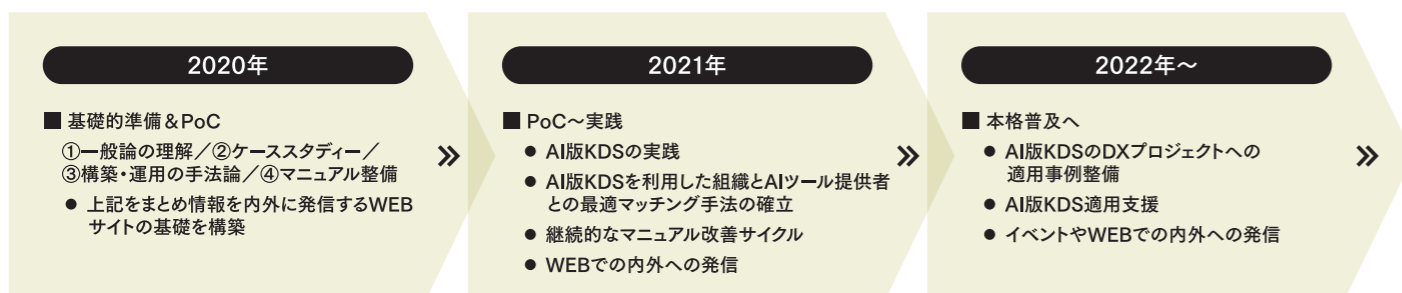
想定される参加者 ● AIコンソ全WG ● 組織経営者、プロジェクトマネージャー ● プログラム開発者

## → 参考事例 内閣府・経営デザインシート(以下「KDS」)

- 内閣府知的財産戦略推進事務局が作成した経営をデザインするためのツール
- すでに多様な組織が利用されており、その実例も多数参照可能
- このツールをAIプロジェクトに応用して、可視化についてベストプラクティスを確立する
- AI版KDSとして普及へ



## → プロジェクトの展開予定



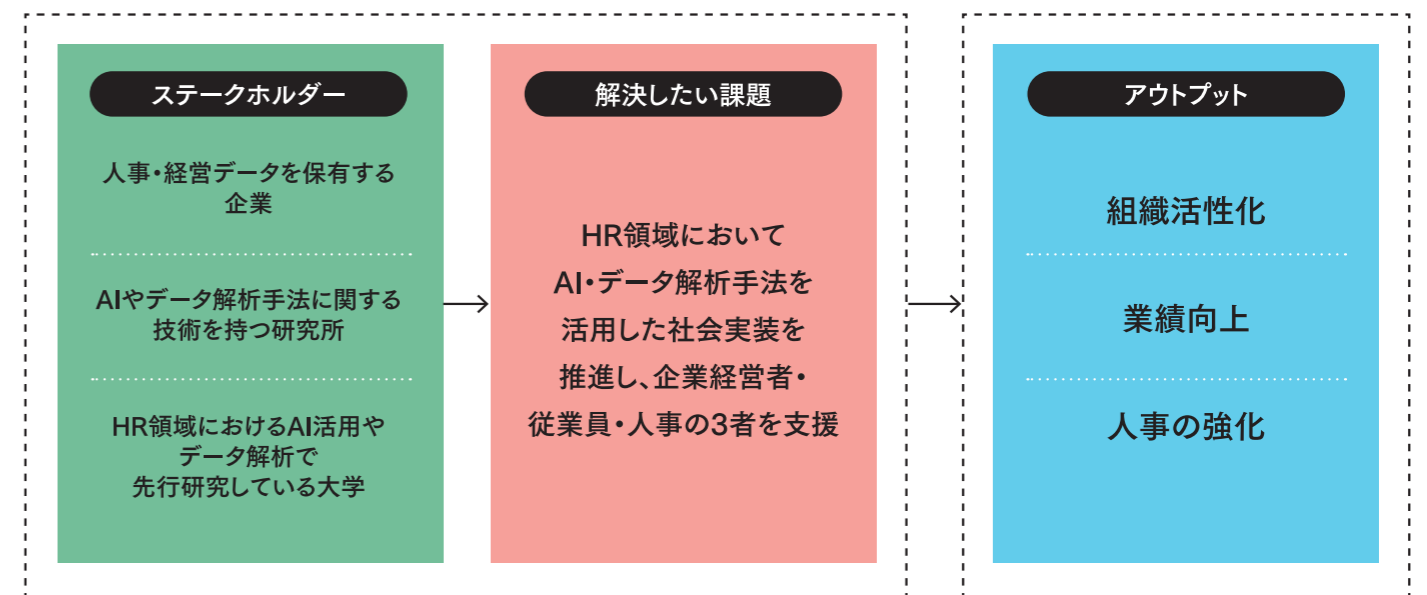
# Human Resource WG

- ▶ Society5.0時代を見据えた、あるべきHRの理想像を討議しつつ、新しい取り組みを実施し、結果を共有することで啓蒙活動を行う。
- ▶ 今後の時代を見据え、DXを前提にした組織デザインを考える。
- ▶ 企業経営者・従業員・人事の3者への価値貢献を考える。

想定される参加者 ● 経営者 ● 人事担当者 ● 管理職 ● 研究者

## → WG活動コンセプト

- 「人事・経営データを保有する企業」「AIやデータ解析手法に関する技術を持つ研究所」「HR領域におけるAI活用やデータ解析で先行研究している大学」のステークホルダーが連携して社会に価値を創出。
- 主にHR領域においてAI・データ解析手法を活用した社会実装を推進し、企業経営者・従業員・人事の3者を支援。
- 最終的にはアウトプットとして「組織活性化」「業績向上」「人事の強化」を目指す。



## → プロジェクトの展開予定

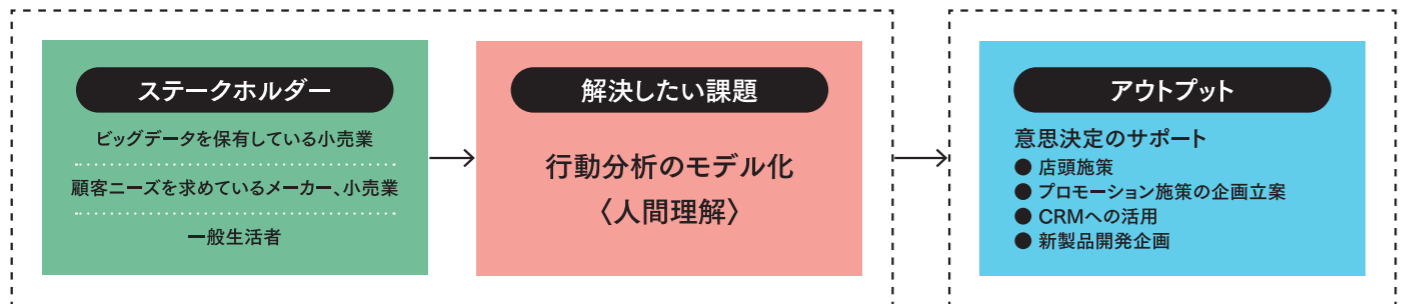
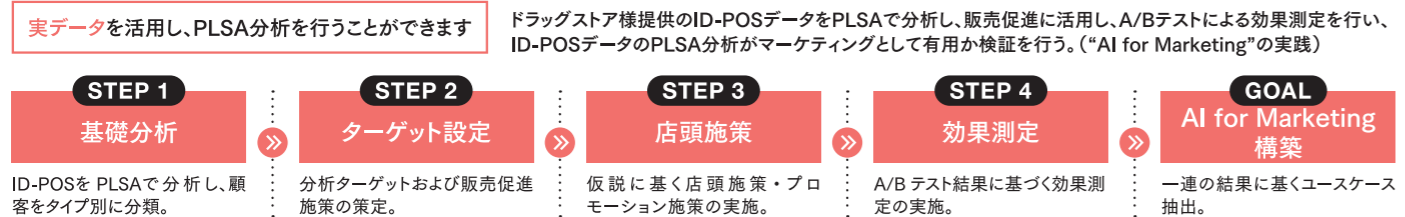


# データ・知識融合WG

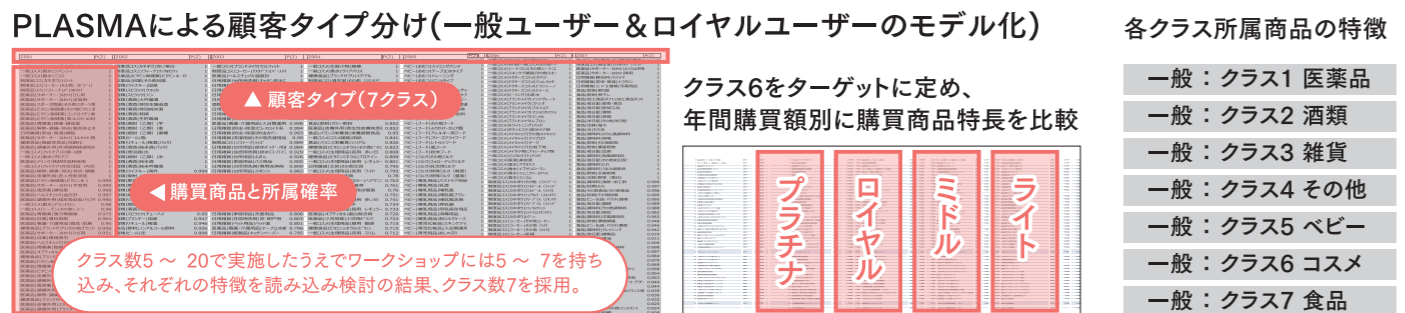
ビッグデータ(量的データ)と質的データを複合した顧客の行動文脈をモデリングすることで、ビッグデータを“人間理解”に活用し、新規サービス・ビジネス開発の発想支援、“AI for Marketing”を行います。

主な参加者の業種 ● 情報・通信業 ● 小売業 ● コンサルティング業 ● サービス業

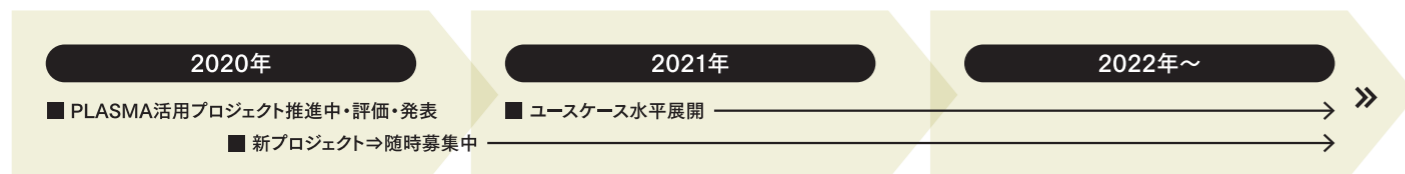
## プロジェクト事例



## WG活動例:ロイヤルユーザー化ストーリーの探求

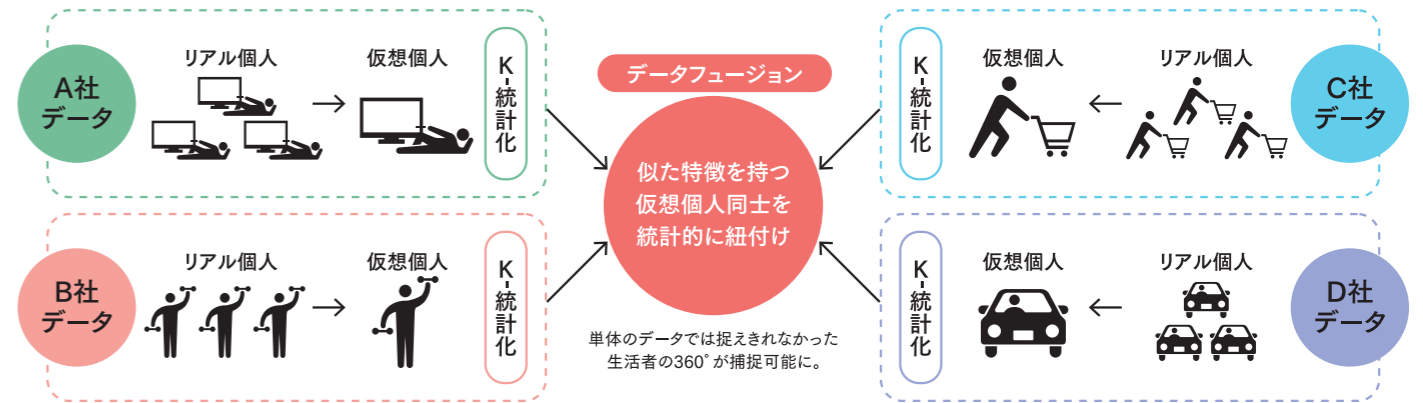


## プロジェクトの展開予定



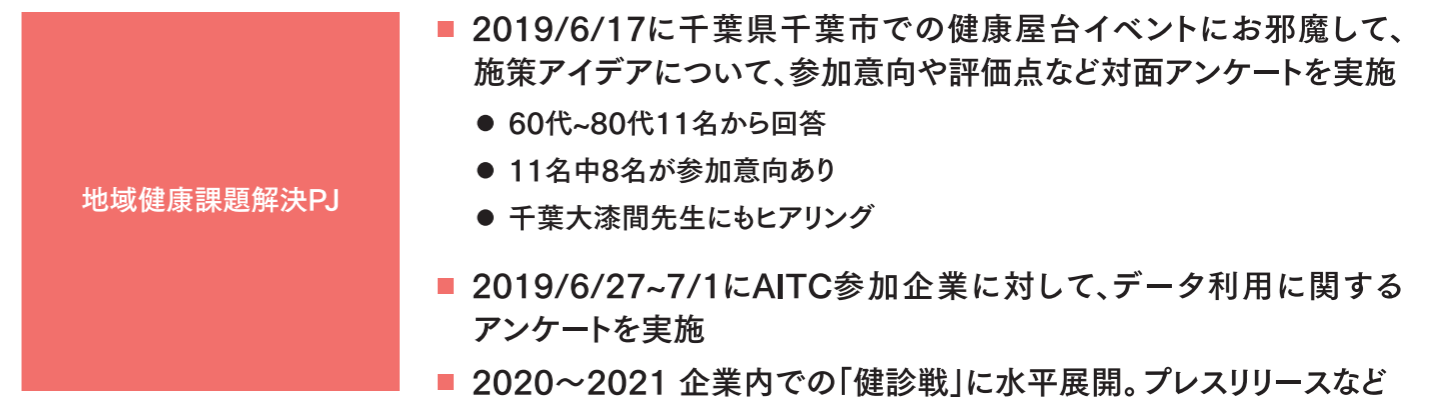
# データプラットフォームWG

企業・自治体等が保有する個人データを、安全かつ有用性のある形で外部に提供できる技術を開発することで、参加組織の新事業開発などに資するデータ流通の場を実現する。

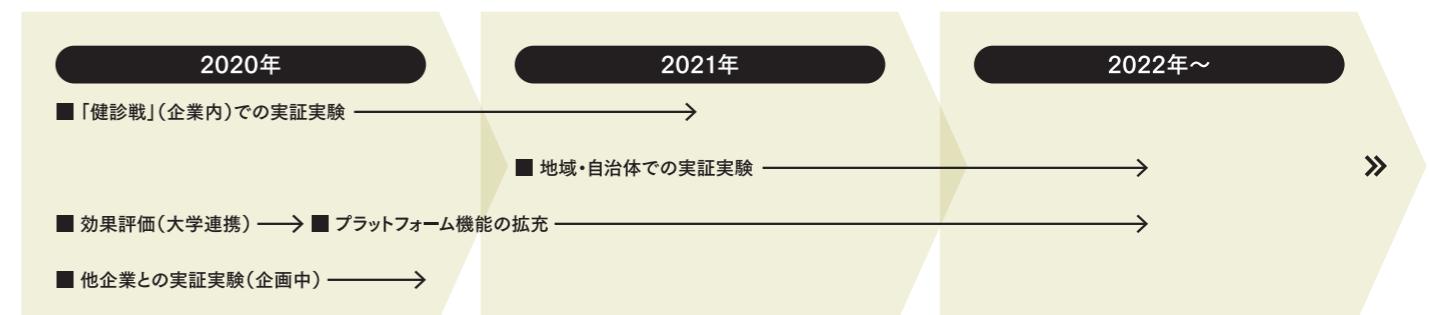


主な参加者の業種 ● ドラッグストアチェーン ● 情報・通信業 ● ポイント事業者 ● 金融業 他

## プロジェクト事例



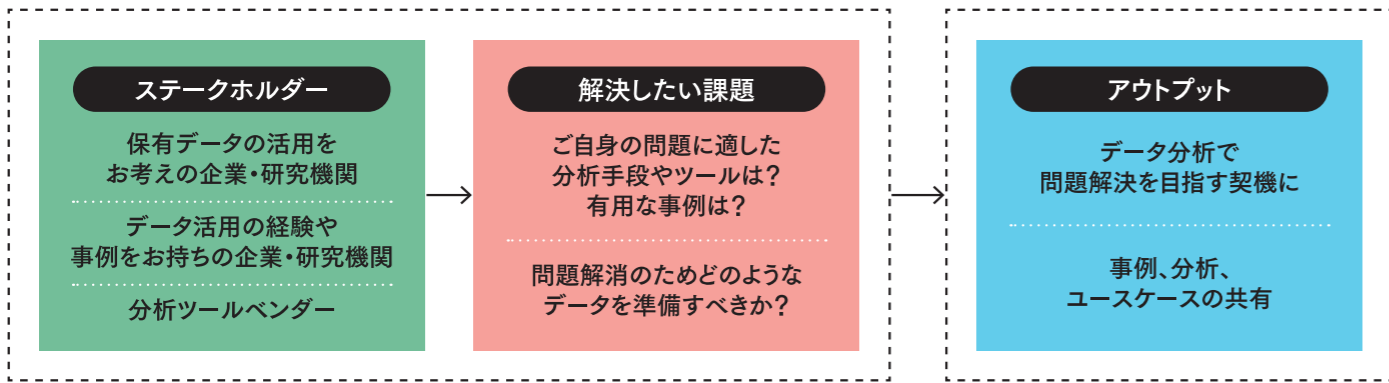
## プロジェクトの展開予定



# データマイニングWG



- ▶ 企業におけるデータ活用を促進し、ビジネス課題を解決するための情報や事例の共有を行います。
- ▶ 特に、データマイニングや機械学習といった大量データに対するデータ分析技術に焦点を当て、WGメンバーの分析力・現場力のスキル向上を目指します。

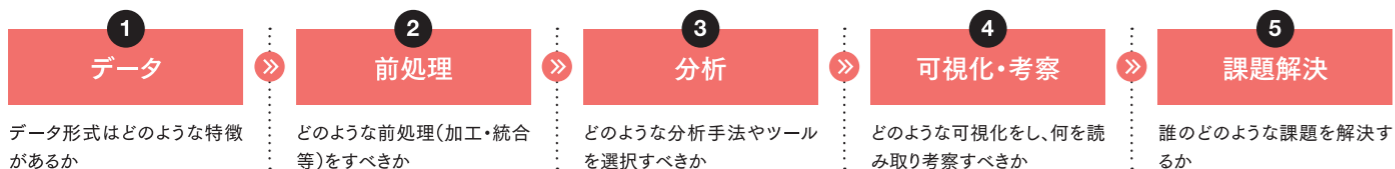


主な参加者の業種 ● 製造業 ● 情報通信・IT業 ● コンサルティング業 他

## プロジェクト事例

### 勉強会、情報共有・討議会の開催

- データ分析の専門家、また有益な適用事例をお持ちの方よりご講演をいただき、WGメンバーのスキルアップを行います。
- データ分析の基礎知識や手法、実際のデータ活用事例について講義を行います。

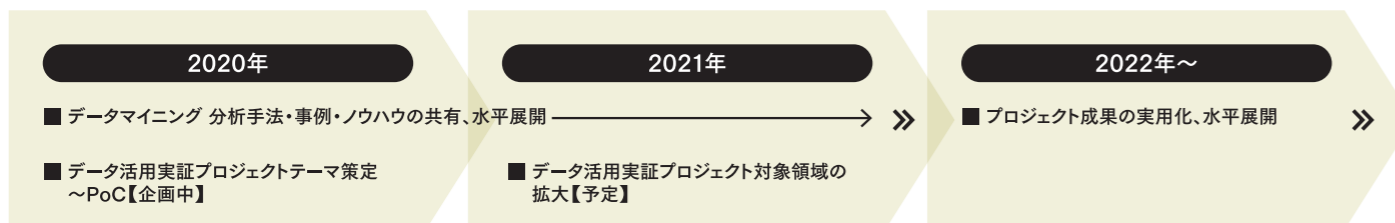


→ AI技術の根幹をなすデータ分析・活用技術に焦点をあて、手法の特性から実践的な事例までの理解を深めます。

過去の会合テーマ テキストマイニングとAI技術の融合／アソシエーション分析における見える化／製造業における分析ユースケース…等

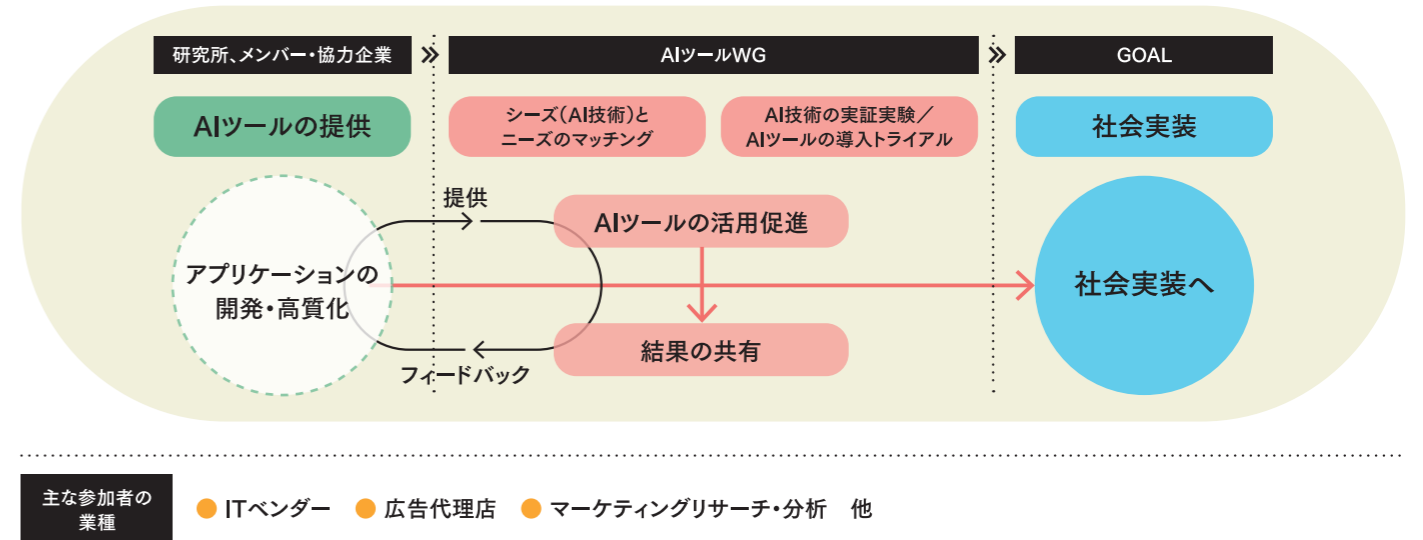
→ WGメンバー自身へのビジネス適用について考え、会合では活発な議論が行われます。

## プロジェクトの展開予定



# AIツールWG

産業技術総合研究所、コンソーシアム会員企業及び外部協力企業より提供されたAIツールを活用した実証実験をプロモートし、AIツールの普及、さらには新たな社会実装の創出を目指す。



主な参加者の業種 ● ITベンダー ● 広告代理店 ● マーケティングリサーチ・分析 他

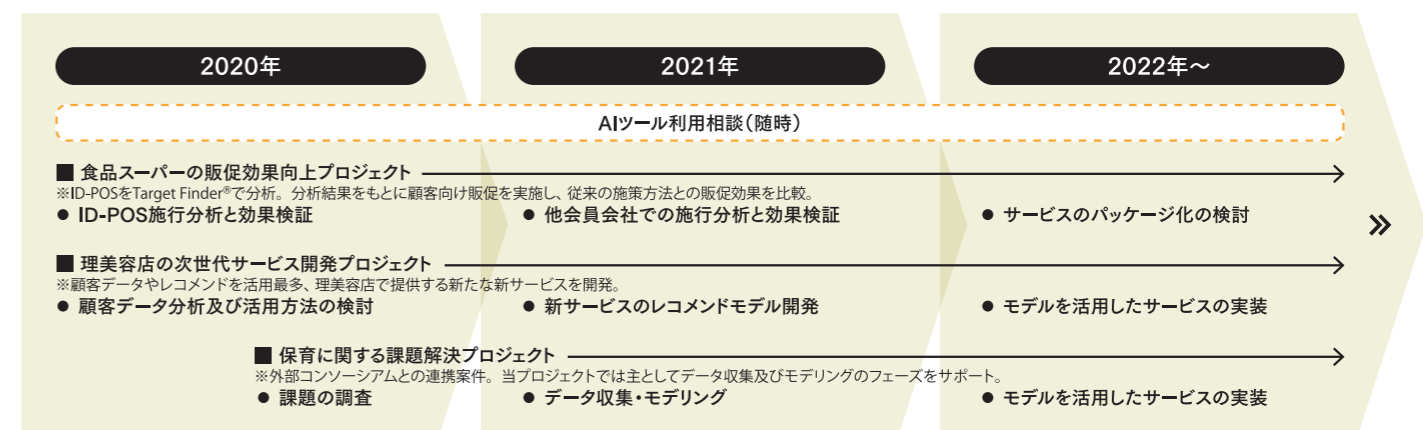
## プロジェクト事例

- AIツールの利用に関する相談会をご希望により随時開催【対象となるAIツール】

- PLASMA/POSEIDON  
国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社クリアタクト
- Target Finder<sup>®</sup>※Target Finder<sup>®</sup>は(株)東急エージェンシーの登録商標です。  
株式会社 東急エージェンシー
- BayoLinkS/Text Mining Studio(類似抽出アドオン、英語アドオン付き)  
/Visual Mining Studio/Visual R Platform/Deep Learner  
株式会社NTTデータ数理システム
- DataSpider Servista  
株式会社セゾン情報システムズ

- 現在活動中のプロジェクト
- 食品スーパーの販促効果向上プロジェクト
- 理美容店の次世代サービス開発プロジェクト
- 保育に関する課題解決プロジェクト

## プロジェクトの展開予定



# AIリビングラボWG

- ▶ Society5.0、スマートホーム、スマートタウンの構築に向け、店舗やイベント空間などにおける利用者行動ビッグデータの観測・分析・活用方法を企画・試行・普及を行うWG
- ▶ 共同実験、インタラクティブアプリのデザイン、ユースケース開発なども検討

主な参加者の業種

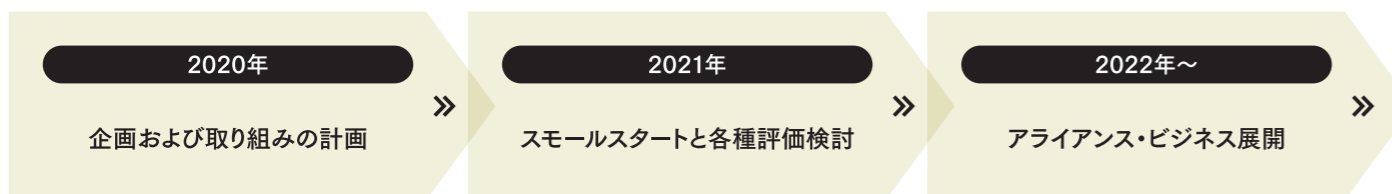
- 流通企業 ● IT企業 ● 情報・通信業 ● サービス業 ● 人材 ● 食品製造・販売 ● 大学 他

## → プロジェクト事例

実フィールドの環境デザイン、リサーチデザインに取り組み、未来型AIユースケースを開発、有効性について実証



## → プロジェクトの展開予定



# 深層学習WG

- ▶ 近年、目覚ましい発展を遂げている深層学習に関するユースケースを開発するために、深層学習WGは発足した。
- ▶ ABCI(産総研のAIクラウドシステム)を活用して、プロジェクト単位でユースケースを開発する。
- ▶ 四半期毎に開催されるWG例会(AITC会員は参加登録可能)にて、ユースケースの共有を行う。

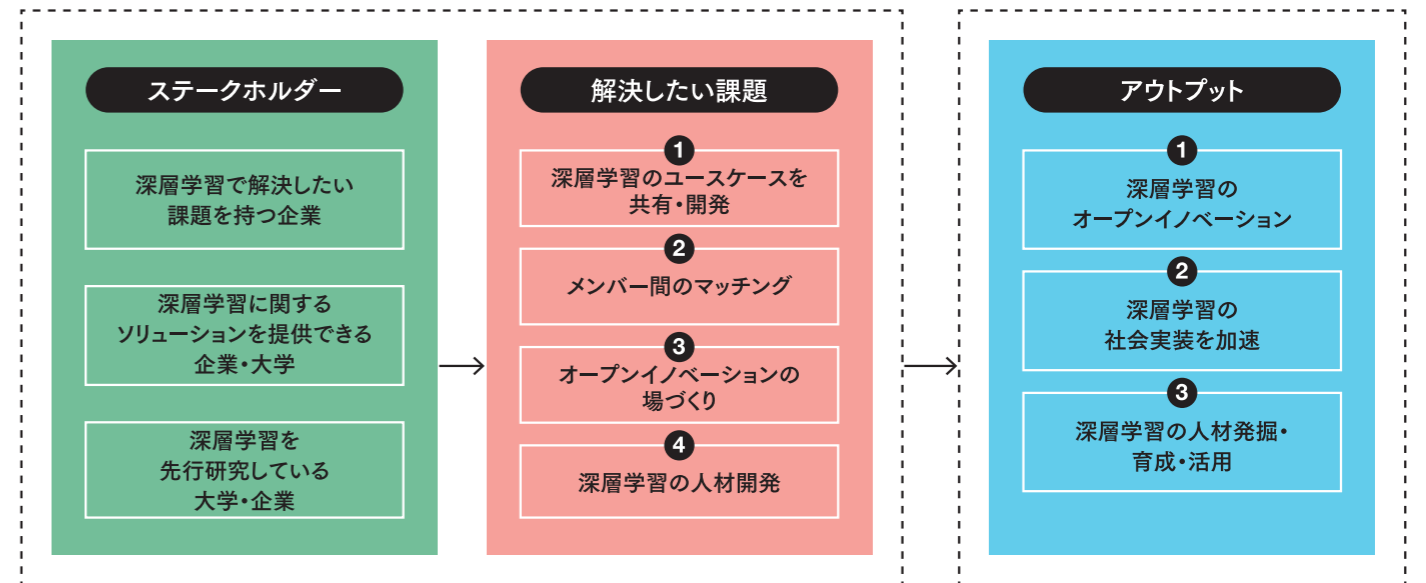
主な参加者の業種

- 産総研 ● 建設 ● SI ● 小売 ● マーケティング ● 人材開発 他
- 2018年新設プロジェクトメンバー募集中

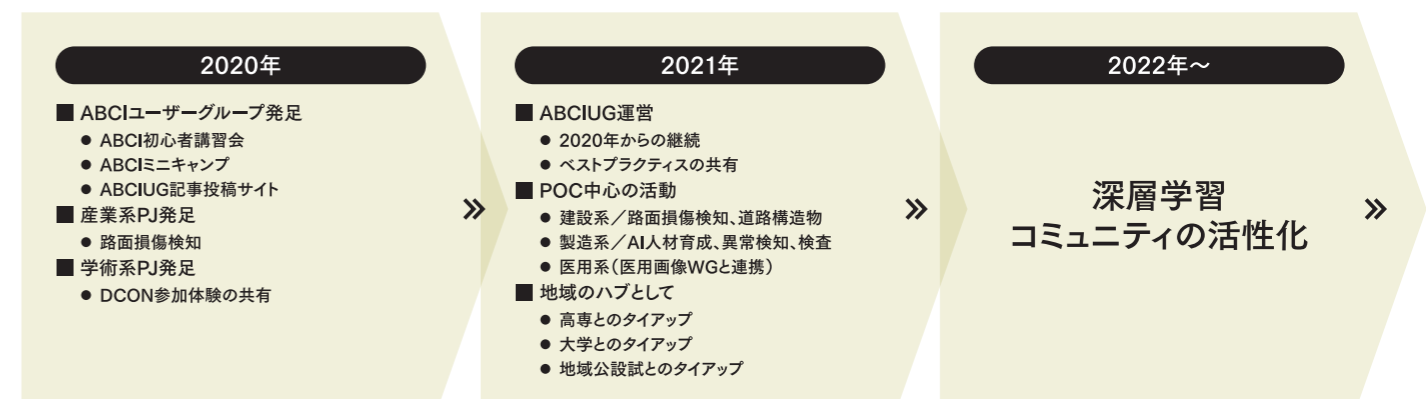
## → プロジェクト事例

### WGの特徴

- 深層学習に関するユースケースを共有
- 深層学習の最新技術を学べる
- オープンイノベーションの環境



## → プロジェクトの展開予定



# AIサービスシステムWG

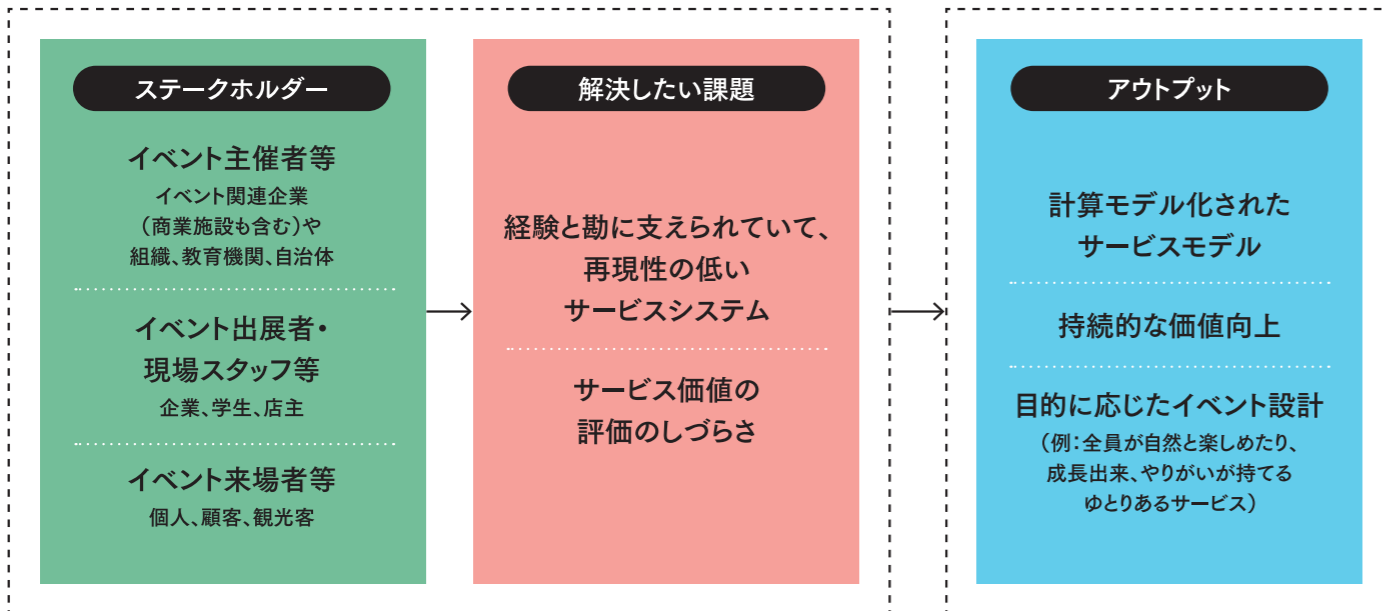
- ▶ 全国各地のコンソーシアム会員企業さんや、他のWGとの強い連携
- ▶ 実際のイベント等の現場での社会適応
- ▶ PLASMAとPOSEIDON(産総研の知財ソフトウェア)の最新バージョンを活用

主な参加者の業種

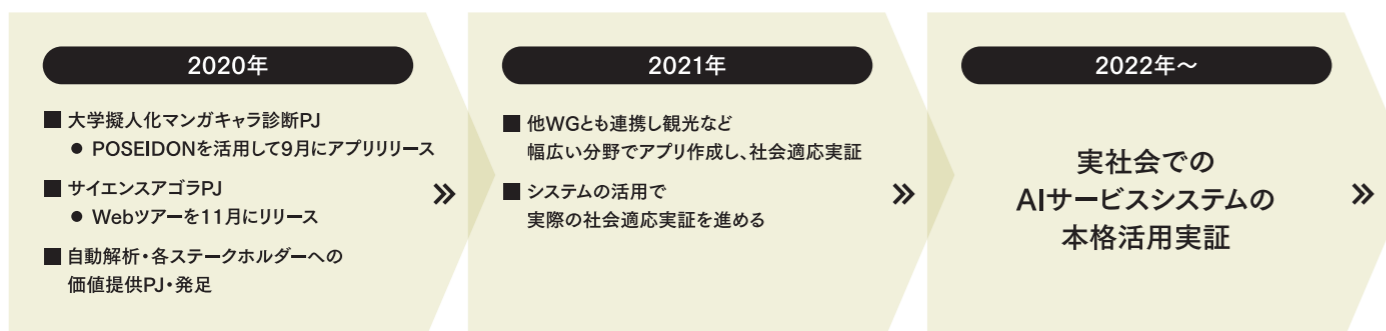
- メーカー ● 研究機関 ● システム会社 ● イベント企画会社 ● コンサルティング会社 ● 商社 ● 大学
- 産総研 ● プロジェクトメンバー募集中

## → プロジェクト事例

- 経験と勘に支えられていて再現性の低いサービスシステムの計算モデル化を試み、持続的な価値向上を目指す。
- 価値観に関する共通表現を創出。
- 目的に応じたイベント設計を可能に。

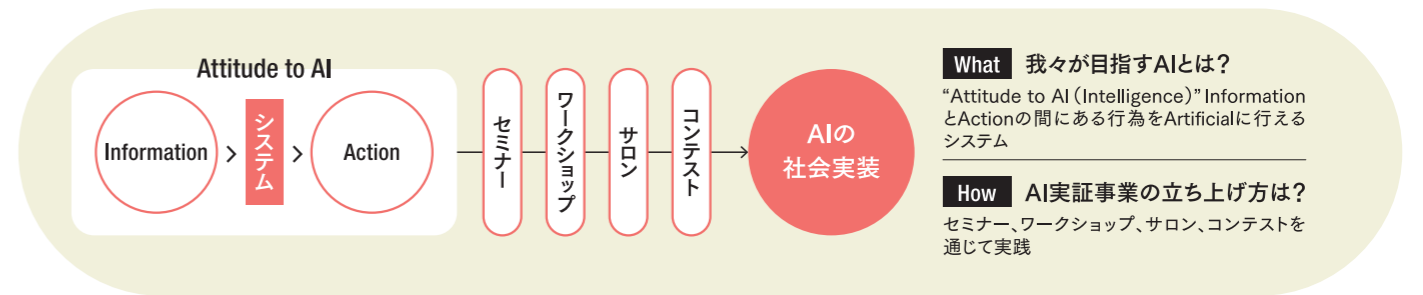


## → プロジェクトの展開予定



# 関西支部WG

- ▶ セミナー、ワークショップ、コンテストの一連の流れを通じたAI技術の社会実証・実装の支援
- ▶ 関西におけるAI技術の情報提供、普及促進



主な参加者の業種

- 製造業(電子機器、家電、機械、製薬) ● 情報・通信業 ● サービス業 ● コンサルティング業 ● 公共団体 ● 大学 他

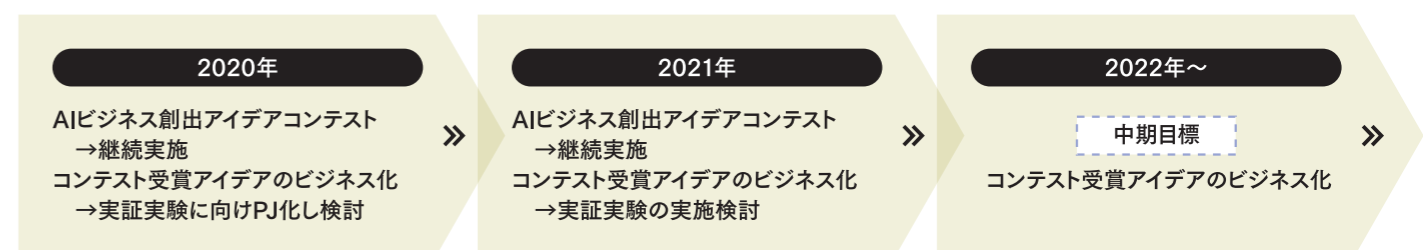
## → プロジェクト事例

### AIビジネス創出アイデアコンテスト

人工知能技術の社会実装を推進するため、AIを活用できるビジネスアイデアを全国から募集する。優秀な提案は表彰し、コンテスト終了後も大阪商工会議所、コンソーシアムの活動を通じて、ビジネス化を支援する。



## → プロジェクトの展開予定



# 九州支部WG

- ▶ 会員企業及びその顧客への人工知能技術のビジネス活用推進
- ▶ 九州地区へ他WGの活動を紹介するセミナー・懇親会の開催
- ▶ AIサービス・AIソリューションの開発及び普及活動
- ▶ 九州地区でのプロジェクト立案、推進、及び普及活動



日経BP Cloud Days 2018

主な参加者の業種

- システム開発業
- Web制作業
- 教育・研修業
- 情報・通信業
- コンサルティング業
- 他

## → プロジェクト事例

- オープンセミナーの開催
- データ活用のテーマを設定して分析プロセスの各ステップのノウハウを整理します

【開発事例】



質問回答人工知能「ロアンナ」

TVQ「ふくおかサテライト」放送

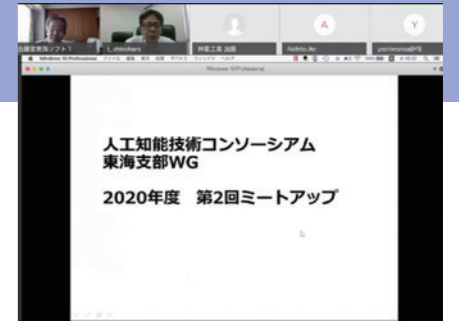


## → プロジェクトの展開予定



# 東海支部WG

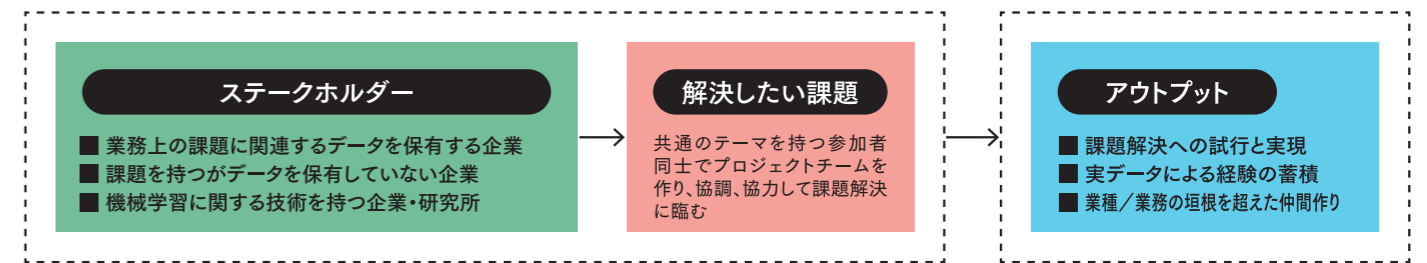
東海支部WGでは、国内有数の産業集積地である東海エリアにおける人工知能技術の社会実装の普及・推進のため、参加メンバーのビジネスに応用可能な技術の検証、人工知能技術に関するビジネスの育成、産官学連携による活動効果の最大化を志向した活動を行なっています。



主な参加者の業種

- 製造業(自動車部品、素材、産業機械等)
- 情報・通信業
- コンサルティング業
- 他

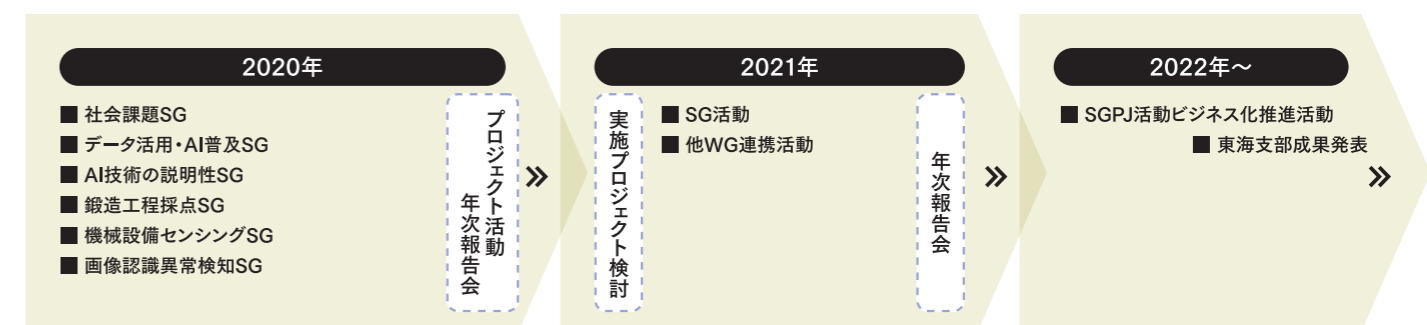
## → 活動コンセプト



## → プロジェクト事例

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>ビジネスとしての社会課題を考える</b> 社会への価値提供、貢献を実現可能とする、企業の固有技術とAIの先進技術を組み合わせたソリューションを考える取り組みを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>鍛造工程採点システムによる技能継承</b> (2018年からの継続プロジェクト) エアードロップハンマー操作の採点システムを実現し、作業者の技術向上と技量の可視化を行っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>データ活用・AI普及を目的としたアンケートデータの利活用</b> 企業内のデータ・AI活用の普及をゴールに、アンケートデータを活用し、個人や部署の層ごとに必要なアクションを探る取り組みを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>画像認識による設備の異常検知</b> (2019年からの継続プロジェクト) 生産ラインの平面矯正装置で発生する異常(製品詰まり)を画像認識技術を用いて検知し、異常予防を行う取り組みを行っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>AI技術の説明性に関する手段構築</b> (2019年からの継続プロジェクト) AI技術を実務で利用していく為、技術面の調査と、品質保証の観点から実務的な動向やガイドラインの調査を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>機械設備におけるセンシングとAI技術</b> (2019年からの継続プロジェクト) 工場機械設備の不具合を事前に検知する事を目標にデータ収集からAIモデル開発を行っています。</li> </ul>

## → プロジェクトの展開予定



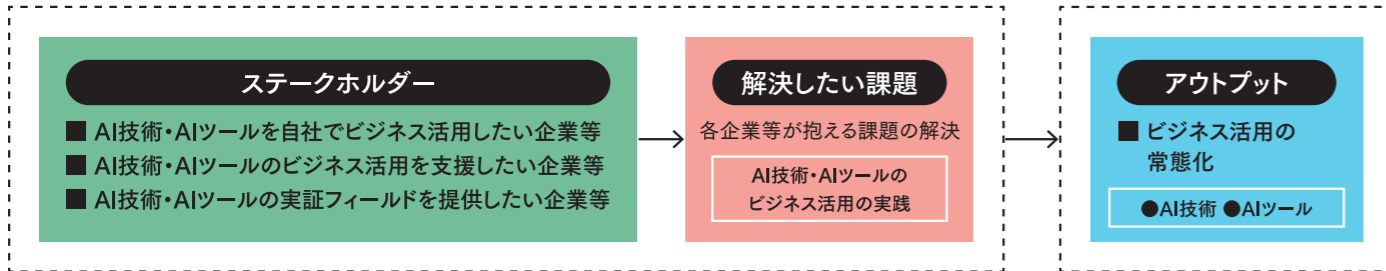
# 神戸支部WG

- ▶ ビジネス活用推進のための、AI技術・AIツールの最新動向や先進事例、他のWGの活動紹介等を行う例会の開催
- ▶ 神戸・兵庫エリアにおけるAI技術・AIツールを活用した実証事業の実施
- ▶ AIツール利用環境の提供(AIツール:Target Finderを搭載したパソコン準備)

主な参加者の業種 ● 製造業 ● 小売業 ● 広告代理店 ● 経済団体 ● 大学 など

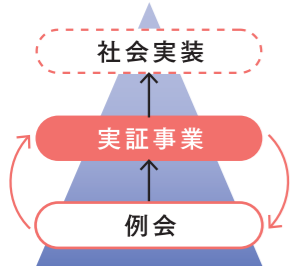
## → 活動コンセプト

### ■ 神戸・兵庫エリアにおけるAI技術の社会実装の実現

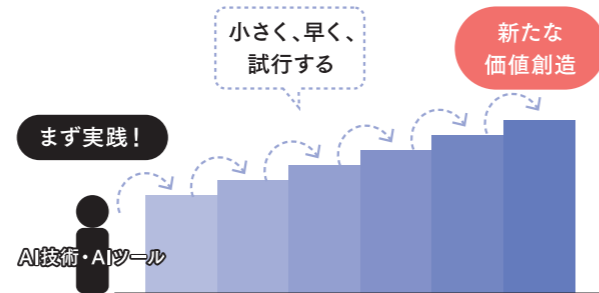


## → プロジェクト概要

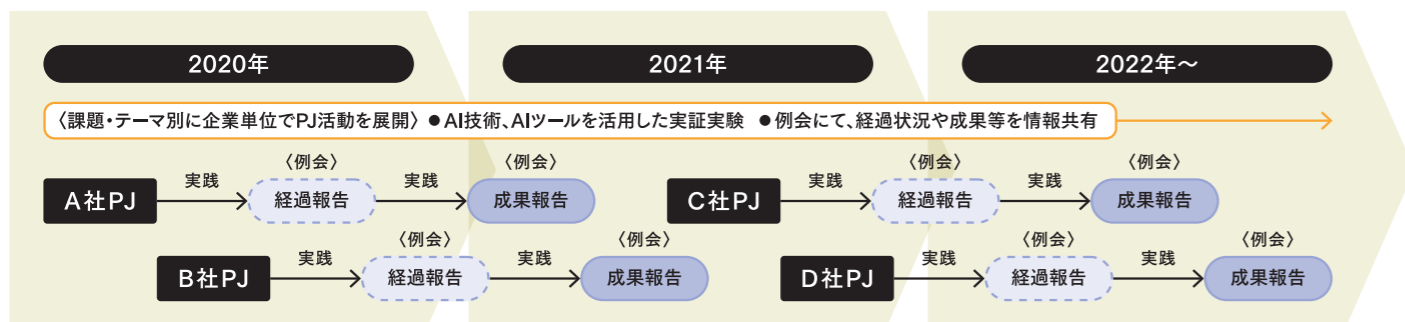
### 【神戸・兵庫エリア】



- 神戸・兵庫エリアにおける
- AI技術・AIツールの情報提供、ビジネス活用の推進
  - AI技術・AIツールを活用した実証事業の推進による社会実装の実現
  - 会員交流促進、新規会員募集



## → プロジェクトの展開予定



## Society5.0, 超スマート社会の実現に向けて

- AI技術の社会実装が進んだ2030年頃の新しい社会像  
AIとビッグデータでサイバー化し、物理限界を越えて価値を創出
- コンサルティングAIのシミュレータとビッグデータ可視化により、意思決定や議論の場においてより良い気づきが得られ、人の共創力を増幅

AI for the future



産総研公式Youtubeから公開



NEDO「人間と相互理解できる次世代人工知能の研究開発」の支援による

### 入会のご案内

- 人工知能に関連した技術の活用と実証プロジェクト推進にご関心のある方であれば、業種、業態を問わず参加いただけます。
- HPでは活動中のWorking Groupについての紹介、最新の会議・イベントスケジュールを掲載しております。
- 各地域でのワーキンググループ(WG)、プロジェクト(PJ)の設立については事務局までご相談ください。

[ 人工知能技術コンソーシアム事務局 ]

電話:03-3599-8957 / E-Mail:airc-consortium-office-ml@aist.go.jp

国立研究開発法人 産業技術総合研究所人工知能研究センター  
人工知能技術コンソーシアム事務局

<https://www.ai-tech-c.jp/>